

令和元年度

事業報告書

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

目次

基本目標1 多様な主体との連携・協力による地域福祉の展開

推進項目(1)	地域のたすけあい、ささえあいの推進	1
推進項目(2)	市町社協の活動支援	5
推進項目(3)	福祉教育の推進	9
推進項目(4)	多様な主体の活動支援	10
推進項目(5)	地域公益活動の推進	15

基本目標2 総合相談・生活支援の推進

推進項目(1)	権利擁護支援施策の推進	17
推進項目(2)	生活困窮者の自立支援	26

基本目標3 福祉人材の確保と資質向上

推進項目(1)	福祉人材の確保・定着の支援	32
推進項目(2)	福祉人材の資質向上	50

基本目標4 福祉サービスの質の向上

推進項目(1)	福祉サービス提供事業者の経営支援	58
推進項目(2)	種別協議会の支援	60

基本目標5 災害時に備えた取り組みの推進

推進項目(1)	災害対応にかかる基礎強化	65
推進項目(2)	被災者支援協働における協働	67

基本目標6 県社協の基盤強化

推進項目(1)	企画提案機能の強化	70
推進項目(2)	情報提供の充実	72
推進項目(3)	組織体制の強化	73
推進項目(4)	財政基盤の強化	76

※本冊子は、三重県社会福祉協議会 地域福祉活動支援計画・強化発展計画「ウェルビーイングみえ21プラン」第4期計画（平成28年度～平成32年度）の基本計画に基づき、事業報告しております。

※「新ウェルビーイングみえプラン」の策定に伴い、「ウェルビーイングみえ21プラン」第4期計画については、本来から1年前倒しで令和元年度が最終年となったため、第4期計画期間中の達成率を記載しています。

「(R1実績値 - H27現状値) ÷ (R2目標値 - H27現状値) × 100」で算出

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により、延期または中止となった事業については、その旨を記載し、下線を付しています。

基本目標 1 多様な主体との連携・協力による地域福祉の展開

福祉教育の充実や地域支援事業の展開など、市町社協やボランティア、NPO法人との連携、協力はこれからの地域福祉を考えると、極めて重要な要素になります。市町社協や民生委員・児童委員といったフォーマルな社会資源、ボランティアに代表されるインフォーマルな社会資源が融合し、地域福祉を強力に推進していく姿を理想としています。さらに、社会福祉法人が公益的な活動を今まで以上に推進し、地域で必要とされる存在であり続けるための取り組みを進めます。

推進項目(1) 地域のたすけあい、ささえあいの推進					
担当部署	総務企画部 地域福祉				
事業	市町社協活動強化事業 高齢者健康・生きがいづくり支援事業 共同募金配分金事業 民生委員互助共励事業				
事業展開	<p>○地域福祉推進基礎組織の組織化および活性化の支援、各種サロン活動の推進、住民座談会等の小地域福祉活動を推進します。</p> <p>○小地域単位での公的サービスと、住民組織やNPO等によるインフォーマルサービスとが有機的に連携した支えあいシステムづくりを推進します。</p> <p>○社会的な援護を必要とする人々に対し、総合的な支援を発揮できるよう関係機関との連携強化を図ります。</p> <p>○各団体・機関との連携強化を図るため、県社協の連絡・調整機能をこれまで以上に発揮します。</p> <p>○民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりに努め、活動の継続性を高める支援に取り組みます。</p> <p>○三重県民生委員児童委員協議会との連携を強化するとともに、市町や市町社協等との民生委員・児童委員に関する情報の共有と連携を図ります。</p>				
数値目標	地域福祉推進基礎組織 設置市町数	単位	H30現状値	R2目標値	R1実績値
		市町	18	23	20
		WBみえ21プラン第4期の達成率			40%
事業報告 1 小地域福祉活動の推進 (1) 小地域福祉活動推進事業の実施 ①第5回地域における支えあい活動セミナー 令和2年3月5日 / 三重県総合文化センター (延期) 内 容 県内の9団体(地域)の活動発表 ②地域における支え合い活動セミナー事例集の作成 取材先: 桑名市、いなべ市、東員町、四日市市、川越町、亀山市、津市、松阪市、伊勢市、 名張市、志摩市 ③生活支援コーディネーター情報交換会 第1回 平成31年4月19日 / 三重県社会福祉会館 内 容 今年度の進め方の検討・各市町の現状と課題の共有 第2回 令和元年12月16日 / 三重県社会福祉会館 内 容 令和元年度生活支援コーディネーター意見交換会について 令和元年度生活支援コーディネーターアンケート調査について ④令和元年度生活支援コーディネーター 県域情報交換会 令和2年3月6日 / 三重県社会福祉会館 (延期) 内 容 実践発表 登壇者 桑名市社会福祉協議会 一戸 勝史 氏 御浜町社会福祉協議会 喜田 さつき 氏 情報交換会					

⑤生活協同組合コープみえとの包括連携協定の締結
調印式 平成31年4月24日 / 三重県社会福祉会館

(2) 市町社会福祉協議会地域福祉担当者会議の開催
未実施

(3) 地域福祉実践力向上研修会の開催

第1回 令和元年10月22日 / 三重県社会福祉会館
内 容 講義・演習

「社協における地域福祉実践の全体像とワーカーに求められるもの」
講師 関西学院大学 教授 藤井 博志 氏

第2回 令和元年12月5日 / 三重県社会福祉会館
内 容 講義「実践から学ぶ 地域福祉の基礎づくり」

～ひきこもり支援を通じた地域づくり～災害復興を通じた地域づくり～

講師：岡山県総社市社協 常務理事・事務局長 佐野裕二 氏

進行：皇學館大学 現代日本社会学部 准教授 大井 智香子 氏

第3回 令和2年1月15日 / 三重県社会福祉会館
内 容 演習「実践を高め合う 地域福祉の基盤づくり」

～地域福祉実践力を高める事例の作成を通して～

助言者 鈴鹿市社協 法人担当副参事 渥美 秀人 氏

第4回 令和2年3月17日 / 三重県社会福祉会館 (延期)

内 容 講義・演習「社協が目指すべきこれからの地域福祉の方向性」

講師 東洋大学 社会福祉学科 教授 加山 弾 氏

2 地域における住民と専門職の連携・協働の推進

(1) コミュニティーソーシャルワークスキルアップ会議の開催
令和2年3月18日 / 三重県社会福祉会館 (延期)

3 民生委員・児童委員の活動支援および連携強化

(1) 三重県民生委員児童委員協議会への支援

①第14回三重県民生委員児童委員大会への協力

令和元年5月14日 / 三重県総合文化センター

②単位地区民生委員児童委員協議会会長研修会への協力

令和元年6月12～13日 / 賢島宝生苑 (参加者数 139名)

③中堅(専門)研修会への協力

令和2年1月29日 / 三重県総合文化センター (参加者数 255名)

④指導者研修会への協力

令和2年3月19日 / サン・ワーク津 (中止)

⑤各種委員会活動への協力

企画研修委員会、在宅福祉委員会、児童福祉委員会、広報啓発委員会、主任児童委員会の
5つの委員会の会議、上記及び下記の研修事業実施への協力

ア 児童福祉研修会

令和元年9月4日 / 三重県総合文化センター (参加者数 282名)

イ 在宅福祉研修会

令和元年9月20日 / 三重県総合文化センター (参加者数 656名)

(2) 三重県民生委員児童委員協議会と事業を推進するための連携強化

(3) 民生委員互助共励事業の実施

①指定民生委員児童委員協議会の育成推進
指定なし

②互助事業の実施（見舞金、弔慰金給付）

〔種類〕	〔件数〕	〔金額〕
公務死亡弔慰	0件	0円
公務傷病見舞	8件	280,000円
一般死亡弔慰	12件	360,000円
配偶者死亡弔慰	24件	360,000円
一般傷病見舞	59件	574,000円
災害見舞	0件	0円
退任慰労	1,765件	6,423,000円
計	1,868件	7,997,000円

③主任児童委員研修会の開催

令和元年8月29日 / 三重県総合文化センター

参加者 262名

内容 講義「児童虐待も含めたDVの事例について」「子どもの人権と親子の関係について」
講師 社会福祉法人みどり自由学園 美鈴の家 施設管理者 笠松 成夫 氏

④相談に関する研修会の開催

令和2年2月14日 / 三重県総合文化センター

参加者 239名

内容 講義「ひきこもりの理解とその対応」
講師 三重県こころの健康センター 所長 楠本 みちる 氏
主幹 馬野 隆司 氏

⑤令和元年度東海北陸ブロック民生委員・児童委員関係事業会議の開催

（三重県民生委員児童委員協議会と共催）

令和元年7月16～17日 / 津市アストプラザ、ホテルグリーンパーク津

参加者 74名（うち県内の民生委員・児童委員27名）

内容 基調報告
全国社会福祉協議会 民生部副部長 武井 頼子 氏
分科会、分科会報告
共通協議題「『地域版 活動強化方策』の策定に向けて」
分科会①「自然災害に備えるために」
分科会②「児童委員、主任児童委員活動の推進に向けて」
分科会③「生活困窮者を支えるために」
講演「目標達成に対する行動の明確化と思考法」
講師 教育・スポーツコメンテーター 武田 美保 氏

（4）一斉改選に伴う新任民生委員・児童委員研修会への後援・協力

県内9会場で開催（参加者数1,419名）

- ①北勢（桑員） 1月23日 / 東員町総合文化センター
- ②北勢（三泗） 2月13日 / 四日市市文化会館
- ③北勢（鈴鹿） 2月4日 / 鈴鹿市文化会館
- ④中勢 2月27日 / 三重県総合文化センター
- ⑤松阪多気 1月31日 / 農業屋コミュニティ文化センター
- ⑥南志 2月17日 / 伊勢市ハートプラザみその
- ⑦伊賀 3月4日 / 伊賀市文化会館 （延期）
- ⑧紀州 1月17日 / 東長島公民館
- ⑨補講 3月12日 / 三重県総合文化センター （中止）

事業評価

- 1 小地域福祉活動の推進については、県内の活動を紹介する事例集を作成し、取り組みの発信と共有を強化することができました。また、生活協同組合コープみえとの包括連携協定を締結しました。一方、市町社会福祉協議会地域福祉担当者会議は実施することができませんでした。
- 2 コミュニティーソーシャルワークスキルアップ会議を企画しましたが、新型コロナ

	<p>ナウイルス感染拡大防止の観点から延期となりました。</p> <p>3 本年度は民生委員・児童委員の一斉改選年でしたので、三重県民生委員児童委員協議会主催の民生委員児童委員大会や新任民生委員・児童委員研修会の開催等に協力しました。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>1 コープみえと連携協定の締結を受け、今後は小地域福祉活動の推進等に向けて具体的な取組みを進めていく必要があります。</p> <p>2 意見交換や実践交流を取り入れながら、今後の展開を検討していく必要があります。</p> <p>3 今年度は民生委員・児童委員の一斉改選が行われ、令和2年度は県内の全委員の半数近くが委嘱から一年以内となるため、新任の委員の定着に向け、来年度以降も着実に事業を推進していく必要があります。</p>

推進項目（２） 市町社協の活動支援					
担当部署	総務企画部 地域福祉				
事業	市町社協活動強化事業 共同募金配分金事業				
事業展開	<p>○市町社協への訪問（アウトリーチ）を基本に、常にその実態把握と連携に努めます。</p> <p>○市町社協への支援強化を図るため、県社協においてもその問題解決機能の強化を図る組織づくりを行います。</p> <p>○市町社協に対する事業運営・経営のための個別支援機能を高めます。</p> <p>○県内の市町社会福祉協議会の事務局長で構成し、県内の地域福祉について協議する三重県地域福祉活動推進協議会でキャリアパス的な職員育成の仕組みづくりを検討し、市町社協で地域福祉を推進する核となる人材を養成します。</p> <p>○地域福祉実践の基盤となる地域福祉活動計画の策定支援、推進支援を行い、全市町での策定を目指します。</p> <p>○市町社協が取り組む先駆的な事業を積極的に支援し、市町社協との連携・協働による、研究等の機会を設け、県内外に対してその成果を発表していきます。</p> <p>○調査・研究に関しては、専門機関である大学等研究機関と協力しながら取り組みます。</p>				
数値目標	市町社協第三者評価の実施件数（累計）	単位	H30 現状値	R 2 目標値	R 1 実績値
		件	8	16	8
		WBみえ 21 プラン第 4 期の達成率			20%
事業報告 1 市町社協の運営の支援 （１）地域福祉活動推進協議会の開催 ①地域福祉活動推進協議会の開催 第 1 回 令和元年 5 月 17 日 / 三重県社会福祉会館 内 容 副会長の選任について 令和元年度の地域福祉活動推進協議会の取り組みについて 事前提出協議題について 第 2 回 令和元年 10 月 25 日 / 三重県社会福祉会館 内 容 新ウェルビーイングみえプランおよび地域福祉支援計画について 日常生活自立支援事業予算要望状況について コンプライアンスの遵守について 災害時における対応について 三重とこわか国体・三重とこわか大会について ヘルプマークの配布について 三重県共同募金会 社会福祉協議会配分要綱等の見直しに係る取組みについて 第 3 回 令和 2 年 2 月 5 日 / 三重県社会福祉会館 内 容 新ウェルビーイングみえプランおよび地域福祉支援計画について 日常生活自立支援事業について 働き方改革への対応について 災害時の対応について ②地域福祉活動推進協議会 働き方改革学習会の開催 令和元年 7 月 24 日 / 三重県社会福祉会館 内 容 講義「働き方改革への対応について」 講師 三重県働き方改革推進支援センター 高原 祥子 氏（高原社会保険労務士事務所） 講師への相談 ③部会の開催 ア 地域福祉活動推進協議会 災害対応検討部会の開催 第 1 回 令和元年 9 月 3 日 / 三重県社会福祉会館					

内 容 正副部会長の選任について
災害ボランティアセンターをめぐる全国の動向について
各市町における災害ボランティアセンターの取組状況について
災害対応検討部会の今後の取組について

第2回 令和元年11月14日 / 三重県社会福祉会館

内 容 IT化への対応について
栃木市災害VC運営支援 ブロック職員派遣の報告
共通様式の整備について
災害ボラセン運営研修(仮称)の検討について

第3回 令和2年2月12日 / 三重県社会福祉会館

内 容 災害ボラセンセミナーについて
今後の災害対応検討部会について

イ 令和元年度 災害ボラセンセミナー

令和2年3月9日 / 三重県社会福祉会館 (延期)

内 容 報告「栃木県の令和元年台風第19号災害の概要・VCについて」

講 師 NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 氏

災害VC運営支援に関する社協ブロック派遣報告会

報告者 鈴鹿市社会福祉協議会 小川 直大 氏

菰野町社会福祉協議会 安田 央 氏

コーディネーター NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長 李 仁鉄 氏

(2) 市町社会福祉協議会事務局長会議の開催

令和元年5月17日 / 三重県社会福祉会館

内 容 令和元年度 三重県の福祉関係事業推進方針について
全国社会福祉協議会の動向について
三重県社会福祉協議会令和元年度事業計画について

(3) 「社協・生活支援活動強化方針」チェックリストの活用支援
未実施

(4) 会計業務における全国一斉点検を踏まえた支援
市町社会福祉協議会監事・事務局長研修会の開催(後述)

2 市町社協職員研修の充実

(1) トップセミナーの開催

令和元年9月11日 / 三重県地方自治労働文化センター

内 容 講義「地域づくりとSDGs」

講師 NPO法人Mブリッジ代表理事 米山 哲司 氏

パネルディスカッション「協働の手法」

実践発表①「企業とのタイアップとボランティア」

発表者 伊勢市ボランティアセンター長 野中 秀行 氏

実践発表②「バナーによる地域循環の仕組み」

発表者 東員町社会福祉協議会 主査 秋葉 真人 氏

(2) 市町社会福祉協議会監事・事務局長研修会の開催

令和元年11月6日 / 三重県社会福祉会館

内 容 講演「コンプライアンスを遵守する～社協不祥事の傾向と対策～」

講師 全国社会福祉協議会 地域福祉部副部長 平井 庸元 氏

講義「社会福祉協議会の経理について」

講師 三重県社会福祉協議会 総務課

(3) 地域福祉実践力向上研修会の開催

前項に記載

(4) 市町社会福祉協議会職員研修会の開催

①令和元年度市町社会福祉協議会新任職員研修会

令和元年5月8日 / 三重県社会福祉会館

内 容 講義 「“社協”を学ぶ ～これからの社協職員に期待すること～」

講師 高田短期大学 非常勤講師 蒔田 勝義 氏

講義 「教えて！先輩ワーカー」

講師 桑名市社会福祉協議会 竹田 皓彦 氏

鈴鹿市社会福祉協議会 稲吉 秀允 氏

御浜町社会福祉協議会 桑原 由樹 氏

演習 「今年1年の目標を立てよう」

②令和元年度市町社会福祉協議会新任職員研修会フォローアップ研修

令和2年3月23日 / 三重県社会福祉会館 (延期)

内 容 講義 「社協への期待と職員に求められる資質」

講師 皇學館大学 現代日本社会学部 准教授 大井 智香子 氏

演習 「自身の経験を振り返る・まとめる・伝える

～振り返りから次のアクションへ～」

3 地域福祉活動計画の策定・推進の支援等

(1) 地域福祉計画・活動計画の策定および推進への参画

①第3次鳥羽市地域福祉計画および活動計画策定委員

策定委員会 5回

②第2次紀宝町地域福祉（活動）計画推進委員

推進委員会 3回

③第1次明和町地域福祉（活動）計画策定・推進委員

推進委員会 1回

④第1次紀北町地域福祉活動計画推進委員

推進委員会 2回

(2) 各種研修・会議等への参加・職員派遣

①講師として職員派遣

・公益財団法人みえ犯罪被害者総合支援センター 令和元年度第2回継続研修

令和元年5月16日

・令和元年度南伊勢町災害ボランティアコーディネーター養成講座（第2回）

講師として職員派遣 令和元年8月6日

・いなべ市社協令和元年度部門別研修

令和2年2月13日

・令和元年度紀宝町災害ボランティアコーディネーター養成研修（第3回）

令和2年3月12日

②研修・会議に参加

・令和元年度「鈴鹿市災害ボランティアセンター」連絡会

令和元年6月27日、令和2年1月8日

・令和元年度 東海北陸ブロック・指定都市社会福祉協議会 福祉活動指導員等研究協議会

令和元年7月16日・17日

・学び合い、磨き合う地域公共交通セミナー【実践編1】

令和元年9月20日

・フードバンクマッチングワークショップ

令和元年10月8日

・令和元年度 第1回 三泗鈴亀地区災害ボランティアセンター広域連携強化会議

令和元年11月7日

4 市町社協が実施する先駆的事業の支援

(1) 地域福祉活動ステップアップ支援事業の実施

助成対象事業実施社協

伊賀市 (保証プロジェクト)

「伊賀流 ゆりかごから墓場まで～人生の終い方お手伝いします～」

尾鷲市 生活支援活動推進事業

御浜町 畑でパワーアップ！まだまだやれるぞプラチナ世代

実施報告会

令和2年2月14日 / 三重県社会福祉会館

進行・コメンテーター 皇學館大学 現代日本社会学部 准教授 大井 智香子 氏
 まちあるきコーディネーター 安宮 勝之 氏

令和2年度申請事業 審査会

令和2年3月25日 / 三重県社会福祉会館

進行・コメンテーター 皇學館大学 現代日本社会学部 准教授 大井 智香子 氏
 まちあるきコーディネーター 安宮 勝之 氏

<p>事業評価</p>	<p>1 市町社協の運営支援については、地域福祉活動推進協議会を3回開催し、様々なテーマにおいて協議、情報交換を行うことができました。対応が求められる働き方改革について学習会を開催しました。さらに、災害対応検討部会を設置し、大規模災害時に円滑に相互応援ができる仕組みについて検討を重ねました。</p> <p>一方、「社協・生活支援活動強化方針チェックリスト」や会計業務における一斉点検を踏まえた支援については、十分に実施することができませんでした。</p> <p>2 市町社協職員の研修の充実については、新任職員を対象とした研修が定着しつつあります。フォローアップ研修については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を延期しました。</p> <p>3 継続的に複数の市町の計画策定・推進に委員として参画するとともに、今後の策定・推進に向けた助言等を行っています。一方、未策定市町への働きかけは十分に行えませんでした。</p> <p>4 市町社協が実施する先駆的事業の支援については、共同募金配分金を活用した助成事業を実施し、継続・新規ともに支援することができています。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>1 全社協が実施する「社協・生活支援活動強化方針チェックリスト」等を活用し、在宅福祉部門の充実や経営面での強化など、幅広く社協に関連する事業についての支援が求められます。</p> <p>2 次年度から受託予定の相談支援包括化推進員等養成事業を活用し、三重県と連携しながら、幅広い知識や実践的なスキルを学ぶ研修の実施、体系化が必要です。</p> <p>3 市町社協が地域のプラットフォームとして機能するよう引き続き地域福祉活動計画未策定市町への働きかけが必要です。</p> <p>4 助成後のフォローアップについては、方法や体制の検討が必要です。また、申請件数が減少傾向であり、見直し・検討の必要があります。</p>

推進項目(3) 福祉教育の推進					
担当部署	総務企画部 ボランティアセンター				
事業	ボランティアセンター事業 共同募金配分金事業				
事業展開	<p>○社会福祉協議会の重要な使命として福祉教育を位置づけます。</p> <p>○全社協が提唱する社会的包摂の概念に沿った福祉教育を展開し、地域住民の福祉に対する理解を深め、主体的に福祉のまちづくりや福祉コミュニティの形成に参加することを支援します。</p> <p>○多様な機関と連携・協働し、地域住民がともに学びあい、育ちあう機会を提供します。</p>				
数値目標	福祉教育の取り組みを進めている市町社協数	単位	H30現状値	R2目標値	R1実績値
		法人	29	27	29
		WBみえ21プラン第4期での達成率			120%
事業報告 1 福祉教育に関する調査・研究の実施 (1) 福祉教育推進に係る現地調査 平成31年4月17日 / 御浜町立阿田和中学校 令和元年5月29日 / 御浜町立御浜中学校 令和元年7月26日 / 特別養護老人ホーム鈴鹿グリーンホーム、ルーエハイム(鈴鹿市) 令和元年8月9日 / 鈴鹿市社会福祉協議会(ワークキャンプ報告会) 令和元年8月23日 / 菰野町社会福祉協議会(高校生ボランティアスクール) 令和元年10月11日 / 四日市市立桜中学校 2 地域を基盤とした福祉教育推進事業の実施 (1) 学習者中心の福祉教育プログラムづくりセミナーの開催 未実施 (2) モデルとなる市町社協の指定および福祉協力校事業でのツールの使用 未実施 (3) 市町社協福祉教育担当者会議 平成31年4月3日 / 三重県社会福祉会館 参加者 12名(11社協) 内容 説明「福祉教育について」 進行 三重県社会福祉協議会 地域福祉課 講義・演習「学習者中心の福祉教育プログラムづくり」ワークブックについて ファシリテーター クレセント・ワークス 小山田 奈央 氏 説明「三重県社協主催 福祉教育推進事業について」 進行 三重県社会福祉協議会 地域福祉課 (4) 福祉教育に関する会議への参加 鳥羽市社協福祉教育会議 令和元年6月28日 / 鳥羽市社会福祉協議会					
事業評価	1・2 本年度は県内各所の福祉教育の現場を見学し、「学習者中心の福祉教育プログラムづくり」ワークブックの活用の可能性を模索しましたが、セミナーの開催を含め、それ以上の展開につなげることができませんでした。				
今後の課題	1・2 市町社協で取り組んでいる福祉教育について、基本姿勢を確固たるものにするとともに、戦略の見直しが不可欠なため、実態調査から取り組む必要があります。				

推進項目（４） 多様な主体の活動支援					
担当部署	総務企画部 ボランティアセンター 福祉研修人材部 シニア社会活動				
事業	ボランティアセンター事業 共同募金配分金事業 高齢者健康・生きがいづくり支援事業				
事業展開	○ボランティア・市民活動者の養成および支援のため、市町社協ボランティアセンターの機能強化を図ります。 ○三重県ボランティアセンターの機能を強化し、様々な活動主体との協働により、新たな福祉課題への対応を図ります。 ○県内のボランティアコーディネーターの専門性の向上を図ります。 ○三重県ボランティアセンターとしてNPO、企業、団体等との連携を推進します。 ○当事者の活動および組織化の支援を行います。				
数値目標	ボランティア活動者の登録人数（延べ人数）	単位	H30現状値	R2目標値	R1実績値
		人	64,951	65,000	集計中
		WBみえ21プラン第4期での達成率 (H30末時点)			96%
事業報告					
1 市町ボランティアセンターへの支援の強化					
(1) 市町ボランティアセンター事業運営の支援（随時）					
(2) 市町ボランティアセンター事業の情報収集・発信（随時）					
(3) ボランティアコーディネーション研修の開催（全6回）					
講師（全回） 龍谷大学 社会学部 教授 筒井 のり子 氏 （認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会運営委員）					
受講者数 延べ110名、修了者数 4名（社協3名、高齢者施設1名）					
所属先内訳：社協23名、地域包括支援センター11名、高齢者施設7名、障害者施設2名、市民活動センター2名、NPO法人1名、行政（福祉主管課）2名、JA1名					
第1回 令和元年7月29日 / 三重県社会福祉会館 「ボランティア・ボランティアコーディネーション概論」					
第2回 令和元年8月28日 / 三重県社会福祉会館 「ボランティアに関わる相談への対応」					
第3回 令和元年9月19日 / 三重県社会福祉会館 「福祉施設でのボランティア活動のプログラムづくり」※実践報告あり 実践報告 介護老人保健施設 みえ川村老健 相談員 馬場 皓平 氏					
第4回 令和元年10月29日 / 三重県社会福祉会館 「生活支援に関わるボランティア活動のプログラムづくり」※ゲスト講師あり ゲスト講師 長野県長寿社会開発センター主任シニア活動推進コーディネーター 戸田 千登美 氏					
第5回 令和元年11月19日 / 三重県社会福祉会館 「ボランティア活動におけるリスクマネジメント」					
第6回 令和元年12月17日 / 三重県社会福祉会館 「ボランティア活動の評価とコンサルテーション」					
2 三重県ボランティアセンターの機能強化					
(1) ボランティアセンター運営委員会の開催（年2回）					
第1回 令和元年6月19日 / 三重県社会福祉会館					
第2回 令和2年2月26日 / 三重県社会福祉会館					
(2) 市町社会福祉協議会ボランティア担当者連絡会議の開催 未実施					

- (3) ボランティアセンターメールマガジンの配信（原則毎月第2・4金曜日発行）
登録者数 205名（令和2年 3月31日時点）
発行数 24回（原則として第2・4金曜日）

- (4) ボランティアセンターホームページの充実
未実施

3 多様なボランティアアクションを支える仕組みづくり

- (1) ボランティア・市民活動の推進および広報啓発
- (2) みえボランティアフォーラム2019 × SDGsの開催
- ①「社協の強みを活かして企業とつながる」セミナー
令和元年9月26日 / 三重県社会福祉会館
参加者 7名（4社協）
講師 NPO法人Mブリッジ 代表理事 米山 哲司 氏
NPO法人Mブリッジ CSR推進室統括マネージャー 中川 絵美子 氏
- ②「自社の魅力が『伝わる!』ファンを生み出す文章セミナー」
令和2年3月18日 / 三重県総合文化センター (延期)
講師 一般社団法人CSRコミュニケーション協会 代表理事 安藤 光展 氏
NPO法人Mブリッジ 代表理事 米山 哲司 氏
- (3) 企業等の社会貢献活動との連携
未実施

4 NPO、企業、団体等との連携の推進

- (1) 災害関係事業及びみえ災害ボランティア支援センター事業への参画
(詳細は基本項目5推進項目2にて別掲)
- ①みえ災害ボランティア支援センター幹事会（平常時）の運営・参加
②台風第19号豪雨災害対応 MVSC設置運営
③臨時会
④みえ発ボラパックふりかえり会
- (2) 公益財団法人三重ボランティア基金事業への協力
街頭募金 令和元年6月3日 / 白子駅西口
- (3) 社会福祉法人三重県共同募金会への協力
街頭募金 令和元年10月1日 / 津新町駅前
- (4) 三重県ボランティア連絡協議会事業への協力
- ①代議員会
令和元年5月26日 / 三重県社会福祉会館
- ②総合研修会
令和元年11月30日 / 御浜町福祉健康センター
- (5) 県内市民活動センター・NPO等との連携
- (6) 各種ボランティア関係団体のイベント等の広報・周知協力
- (7) その他
- ①コープみえ・NPO法人Mブリッジとの情報交換会議
延べ6回開催
- ②社会福祉法人大阪ボランティア協会 発行誌「ウォロ」への寄稿
- ③とこわか国体、とこわか大会に関するボランティア募集協力
ア 三重県地域福祉活動推進協議会において協力依頼
令和元年5月17日 / 三重県社会福祉会館
令和元年10月25日 / 三重県社会福祉会館
令和2年2月5日 / 三重県社会福祉会館
イ メールマガジンにおける募集状況の記事掲載

5 当事者の活動支援

(1) シニア社会活動・健康づくり推進事業の実施

①第32回全国健康福祉祭和歌山大会（ねりんピック紀の国わかやま2019）への選手派遣事業

ア 選手派遣

令和元年11月8日～11日 / 紀三井寺公園陸上競技場

派遣種目・人数 / 22種目・128名（監督・選手）

イ 会議の開催

(a) 選手等の派遣にかかる各競技種目団体代表者会議

平成31年4月24日 / 三重県社会福祉会館

(b) 派遣選手代表者会議

令和元年10月7日 / 三重県社会福祉会館

(c) 結団壮行式

令和元年10月21日 / 三重県庁

ウ 会議への出席

(a) 担当係長会議

令和元年5月16日～17日 / ホテルアバローム紀の国

②長寿社会活動・地域交流推進事業の実施

ア 生活支援コーディネーター養成にかかる研修の開催

(a) 生活支援コーディネーター養成研修（全体研修）

令和元年7月24日 / 三重県教育文化会館

講師 特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター
理事長 池田 昌弘 氏

参加者 27名

(b) 生活支援コーディネーター実践者研修

令和2年2月12日 / 三重県社会福祉会館

講師 特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター
理事長 池田 昌弘 氏

参加者 30名

イ 地域シニアリーダー育成にかかる研修の企画・実施（県内2市町）

(a) 開催地域事前会議

《玉城町》

第1回 令和元年6月19日 / 玉城町保健福祉センター

第2回 令和元年9月5日 / 皇學館大学

《度会町》

第1回 令和元年7月1日 / 皇學館大学

第2回 令和元年7月17日 / 皇學館大学

第3回 令和元年9月19日 / 度会町社会福祉協議会

(b) 地域シニアリーダー研修会

《玉城町》

第1回 令和2年1月11日 / 玉城町保健福祉会館

内容 支えあいの第一歩！玉城町で暮らし続けていくために

講師 皇學館大学 教育開発センター 准教授 池山 敦 氏

第2回 令和2年1月25日 / 玉城町保健福祉会館

内容 こんなことやってます！支えあい活動を知ろう！

講師 皇學館大学 現代日本社会学部 准教授 大井 智香子 氏
三重県社会福祉協議会 総務企画部 主査 山口 訓広

第3回 令和2年2月8日 / 玉城町保健福祉会館

内容 まだまだあります！事例から学ぶ支えあいのあり方

講師 皇學館大学 現代日本社会学部 准教授 大井 智香子 氏
三重県社会福祉協議会 総務企画部 主査 山口 訓広

第4回 令和2年2月15日 / 玉城町保健福祉会館

内 容 みんなでふみだそう！玉城町の宝物(ささえあい)
講 師 皇學館大学 現代日本社会学部 准教授 大井 智香子 氏

《度会町》

- 第1回 令和元年11月20日 / 度会町保健センター
内 容 みんなで支えあう地域づくりとは
講 師 四日市大学 学長 岩崎 恭典 氏
- 第2回 令和元年11月28日 / 度会町保健センター
内 容 活動発表 まかせて！！漕代支援隊
講 師 皇學館大学 現代日本社会学部 准教授 大井 智香子 氏
発 表 まかせて！！漕代支援隊 (松阪市)
- 第3回 令和元年12月2日 / 度会町保健センター
内 容 活動発表 ハートキャッチいなべ
講 師 皇學館大学 現代日本社会学部 准教授 大井 智香子 氏
発 表 ハートキャッチいなべ (いなべ市)
- 第4回 令和元年12月12日 / 度会町保健センター
内 容 度会町で暮らし続けていくために私たちができること
講 師 皇學館大学 現代日本社会学部 准教授 大井 智香子 氏

③研修会への参加

いきがい・助け合いサミット in 大阪

令和元年9月9日～10日 / 大阪府立国際会議場

(2) 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会に関連する会議への出席

①全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会・会議

- ア 第1回幹事会 令和元年5月15日 / 長寿社会開発センター
イ 第1回総会 令和元年7月2日 / 芝パークホテル
ウ 第2回幹事会 令和元年11月22日 / 長寿社会開発センター
エ 第3回幹事会 令和2年2月7日 / 長寿社会開発センター
オ 第2回総会 令和2年2月28日 / 芝パークホテル (委任状を提出)

②東海・北陸ブロック明るい長寿社会づくり推進機構連絡会議

令和元年12月5日～6日 / 中島屋グランドホテル (静岡県)

事業評価

- 1 ボランティアコーディネーション研修について、社協ボランティアセンター担当職員を含め様々な職種の職員が、支援対象者が支援者のみならず地域のボランティアとつながる意義を学び、多職種での演習の時間を設けることで、所属先による「ボランティア」への視点の違いを共有でき、お互いが補い合えることを確認できました。
一方で、全課程の修了者数が4名に留まったことを踏まえ、初任者向けの研修を再度実施し、市町におけるボランティアコーディネーション能力の向上を図っていく必要があります。
- 2 市町ボランティアセンター担当者会議(地域開催)ができず、ホームページの充実にも着手することができませんでした。
- 3 社協と企業との連携を実践につなげるにあたり、みえボランティアフォーラム2019×SDGsの一環として、ソーシャルライティングに関するセミナーを新たに企画しましたが、新型コロナウイルス感染防止のため開催延期となりました。このことも含めて、企業へのアプローチが後手に回ってしまいました。
- 4 令和元年東日本台風災害を受けて、みえ災害ボランティア支援センターが設置されたことから、幹事団体としてみえ発ボラパックの運営に関わりました。
- 5 シニア社会活動・健康づくり推進事業について、計画通り実施しました。
昨年度から全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会の東海北陸ブロック幹事県として、本会事務局長が幹事に就任しており、ブロック代表として幹事会への出席、発言を行いました。

<p>今後の課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 今後はさらに生活支援コーディネーターの受講を促進していく必要があります。 2 市町ボランティアセンター担当者会議を地域単位で開催し、三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催を控え、従前にも増して市町ボランティアセンターとの連携を強化する必要があります。 3 みえボランティアフォーラムにおいて、主目的の一つである企業との連携強化に十分取り組むことができなかったため、企業と地域を結ぶ取り組みについて、一層の強化が求められます。 4 令和元年東日本台風災害を受けて、みえ災害ボランティア支援センターが設立され、ボラパックを実施しましたが、今後、センターとしてどのような方法で被災地支援に取り組んでいくべきか検討が必要です。 5 ねんりんピック選手派遣事業について、各団体・選手との連絡体制の構築や情報提供を適切に行い、三重県選手団事務局として円滑に、かつ安全に大会に臨めるよう取り組むことが必要です。また、大会終了後の結果を市町等へ提供することにより、当事者の活動支援事業への発展を促します。 地域シニアリーダー育成研修の実施については、内容を一層充実させるために地域と共に考え、企画することにより地域活動への発展と深化を推進し、実施後、受講者がどのように活動しているかを具体的に把握し、その効果を検証することが必要です。
--------------	---

推進項目（５） 地域公益活動の推進					
担当部署	総務企画部 地域福祉				
事業	みえ福祉の「わ」創造基金				
事業展開	<p>○「制度の狭間」から生じる生活課題を抱える人を支援していくため、既存の制度やサービスでは対応できない困りごとを支援するためのしくみづくりを行います。また、各社会福祉法人が実施している「地域における公益的な取り組み」を整理し、情報発信を行います。</p> <p>○三重県の社会福祉法人が広く取り組みを推進するにあたり、県社協が県内社会福祉法人へ広く参加を呼びかけ、『みえ福祉の「わ」創造事業』を創設します。</p> <p>○参画社会福祉法人と市町社協・県社協からの負担金により、みえ福祉の「わ」創造基金を創設し、事業を行います。また、みえ福祉の「わ」創造事業運営委員会を県社協に設置し、適切な運営を図ります。</p>				
数値目標	みえ福祉の「わ」創造事業に参画している社会福祉法人数	単位	H30現状値	R2目標値	R1実績値
		法人	167	200	165
		WBみえ21プラン第4期での達成率			83%
事業報告 1 具体的な支援の開発と実施 (1) 生活困窮者支援緊急食糧提供事業の実施 延べ実績 1,243件 (2) 緊急時物品等支援事業の実施 延べ実績 136件 (3) 生活困窮者就労活動支援事業の実施 延べ実績 994行程（活動理由別 延べ529件） (4) 賃貸住宅入居保証事業の実施 延べ実績 2件 (5) 地域公益活動広域連携助成事業 伊賀市社会福祉法人連絡会へ助成 1件（50万円） (6) 災害派遣助成事業 実績なし (7) ヘルプマーク配布協力事業 2,000個購入の上、全参画法人に1,058個を初期配備。 3法人より追加配布の希望があり、計20個を追加送付。					
2 社会福祉法人の公益活動に関する情報発信 (1) みえ福祉の「わ」創造事業の周知 改訂版パンフレットの作成 (2) 社会福祉法人の公益的な取組の発信 新規参画法人の取組について、ホームページを通して発信 (3) みえ福祉の「わ」創造事業3周年記念大会の開催 令和元年8月21日 / 高田会館 参加者 41名 内 容 記念講演「地域共生社会の実現を主導する社会福祉法人とは」 講師 独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンター シニアリサーチャー 千葉 正展 氏 実践報告・パネルディスカッション（コーディネーター 千葉 正展 氏） 高山市福祉関係団体等連絡協議会事務局 社会福祉法人高山市社会福祉協議会 常務理事兼事務局長 小峠 賢次 氏 伊賀市社会福祉法人連絡会 社会福祉法人青山福社会 理事長 小竹 紀忠 氏					

3 みえ福祉の「わ」創造基金の造成と事業運営委員会の運営

(1) みえ福祉の「わ」創造基金の創設と運営

令和元年度基金造成額 5,960,000円(596口)

【参画法人の概況・推移】

	新規参画法人数	脱退法人数	参画法人数	備考
平成28年度	167	0	167	
平成29年度	2	5	164	
平成30年度	5	2	167	2法人再参画
令和元年度	2	4	165	

(2) みえ福祉の「わ」創造事業運営委員会の運営

第1回 令和元年7月10日 / 三重県社会福祉会館

第2回 令和元年10月9日 / 三重県社会福祉会館

第3回 令和2年2月25日 / 三重県社会福祉会館

事業評価

- 1 県域における「制度の狭間の課題」を解決するための地域公益活動を行う仕組みとして、本年度は県内全社会福祉法人の過半数にあたる165法人の参画を得て、生活困窮者支援緊急食糧提供事業、緊急時物品等支援事業、生活困窮者就労活動支援事業、賃貸住宅入居保証事業、地域公益活動広域連携助成事業の5事業を展開することができました。
- 2 三重県社会福祉法人地域公益活動「みえ福祉の『わ』創造事業」専用のホームページを更新し、ヘルプマーク配布協力事業の開始に伴い、パンフレットを改訂しました。
- 3 県内全社会福祉法人の過半数にあたる165法人から全596口(1口1万円)の参画を得て、基金を造成することができましたが、新たに参画いただく法人が減少傾向にあり、かつ脱退する法人もあることから、県内社会福祉法人の加入促進に向けて、さらなる啓発が必要です。

今後の課題

- 1・2 それぞれの参画法人の事業への関与をさらに進めていくとともに、県民に向けて社会福祉法人の公益的な取組についてのPRを加速していく必要があります。
- 3 事業開始以来、県社協の社会福祉事業会計に専用の拠点区分を設けて会計処理を行ってきましたが、県社協の一事業であるとの誤解を招かないよう、さらに社会福祉連携法人の動きを見据えて、次年度からは任意団体として新たなスタートを切ることになりました。

基本目標 2 総合相談・生活支援の推進

日常生活自立支援事業等に代表される権利擁護の取り組みに加え、生活福祉資金の貸付事業および平成27年度に施行された生活困窮者自立支援法関連の諸事業を自治体、市町社協、ハローワーク等との協働によって有機的に展開することで、総合相談・生活支援を推進し、県民の生活の安定に貢献します。

推進項目(1) 権利擁護支援施策の推進					
担当部署	総務企画部 日常生活自立支援センター 独立事務局 運営適正化委員会				
事業	日常生活自立支援事業 運営適正化委員会設置運営事業 三重県介護従事者確保事業(権利擁護人材育成事業) 共同募金配分金事業				
事業展開	○日常生活自立支援事業については、高度な援助技術等を有する専門員の適正な配置のため、事業実施にかかる運営財源の確保に努めるなど、基幹的社会福祉協議会への支援体制を強化します。 ○専門員や生活支援員の専門性を一層高めていくために、資質の向上を図ります。 ○社協における成年後見制度への取り組みについては、市町社協が実施する法人後見や成年後見支援センター等支援体制の整備を推進するため、関係機関のネットワークづくりの役割を担い、担当者の資質の向上を図ります。 ○社会福祉事業者の苦情対応について、第三者委員未設置事業所での設置を促進します。				
数値目標	日常生活自立支援事業の実利用者数	単位	H30現状値	R2目標値	R1実績値
		人	1,816	2,020	1,891
		WBみえ21プラン第4期での達成率			53%

事業報告

1 日常生活自立支援事業における市町社協支援の強化

(1) 三重県日常生活自立支援センターの運営

① 契約締結審査会の開催(毎月)

構成委員 法律分野2名(弁護士、司法書士)、医療分野2名(医師)、福祉分野2名(社会福祉士、精神保健福祉士)

【月別審査状況表】

期 日	審査案件			報告案件			相談案件
	契約締結	契約解除	支援計画再評価	契約締結	契約解除	支援計画再評価	
4月23日	2	1	22	23	35	214	1
5月28日	3	1	15	42	46	143	4
6月25日	3	1	17	22	28	191	1
7月23日	2	0	15	32	16	211	1
8月27日	1	1	10	28	19	195	0
9月25日	0	0	17	28	17	152	0
10月29日	0	1	12	37	17	180	0
11月19日	0	0	11	29	13	157	1
12月24日	3	0	19	30	26	173	0
1月28日	3	0	13	18	20	244	0
2月25日	1	0	11	29	27	159	0
3月24日	4	1	9	27	22	165	0
計	22	6	171	345	286	2,184	8

②運営監視委員会への業務報告（年6回 隔月）

内 容 平成30年度事業報告

業務実施状況（契約締結審査会、審査・報告案件）

現地調査の報告

③現地調査（全市町社会福祉協議会対象）の実施

令和元年7月31日 / 桑名日常生活自立支援センター（桑名市）

令和元年6月20日 / 木曾岬町日常生活自立支援センター（木曾岬町）

令和元年6月20日 / 東員日常生活自立支援センター（東員町）

令和元年10月17日 / いなべ日常生活自立支援センター（いなべ市）

令和元年11月11・12日 / 四日市日常生活自立支援センター（四日市市）

令和元年8月1日 / 朝日町日常生活自立支援センター（朝日町）

令和元年8月1日 / 川越町日常生活自立支援センター（川越町）

令和元年11月25日 / 菰野日常生活自立支援センター（菰野町）

令和元年7月25日 / 鈴鹿日常生活自立支援センター（鈴鹿市）

令和元年8月1日 / 亀山日常生活自立支援センター（亀山市）

令和元年10月2・4・18日 / 津日常生活自立支援センター（津市）

令和元年10月8・11日 / 松阪日常生活自立支援センター（松阪市）

令和元年8月6日 / めいわ日常生活自立支援センター（明和町）

令和元年8月6日 / 大台町日常生活自立支援センター（大台町）

令和元年8月6日 / 多気町日常生活自立支援センター（多気町）

令和元年11月5・15・21日 / 伊勢日常生活自立支援センター（伊勢市）

令和元年11月21日 / 玉城町日常生活自立支援センター（玉城町）

令和元年8月22日 / 度会日常生活自立支援センター（度会町）

令和元年9月27日 / 大紀町日常生活自立支援センター（大紀町）

令和元年11月21日 / 鳥羽日常生活自立支援センター（鳥羽市）

令和元年8月13日 / 志摩日常生活自立支援センター（志摩市）

令和元年8月22日 / 南伊勢町日常生活自立支援センター（南伊勢町）

令和元年9月19・26日 / いが日常生活自立支援センター（伊賀市）

令和元年11月6日 / なばり日常生活自立支援センター（名張市）

令和元年9月27日 / おわせ日常生活自立支援センター（尾鷲市）

令和元年9月27日 / きほく日常生活自立支援センター（紀北町）

令和元年7月8日 / 熊野日常生活自立支援センター（熊野市）

令和元年7月8日 / 御浜町日常生活自立支援センター（御浜町）

令和元年7月8日 / きほう日常生活自立支援センター（紀宝町）

④市町社会福祉協議会等への支援、指導

令和元年度「地域福祉」担い手養成研修（名張市社会福祉協議会）

令和元年10月10日 / 名張市総合福祉センターふれあい

(2) 会議・研修会等の開催

①市町社会福祉協議会事務局長会議の開催

第1回 令和元年5月17日 / 三重県社会福祉会館

内 容 政党要望について

第2回 令和元年10月25日 / 三重県社会福祉会館

内 容 日常生活自立支援事業予算要望状況について

第3回 令和2年2月5日 / 三重県社会福祉会館

内 容 令和元年度委託料配分について

令和2年度予算における委託料配分について

令和2年度利用料助成について

②専門員連絡会議の開催

令和元年11月19日 / 三重県社会福祉会館

参加者 34名

内 容 日常生活自立支援事業にかかる標準契約書の変更について
専門員意見交換

③専門員資質向上研修の開催（全国社会福祉協議会との共同開催）

令和元年12月10日 / 三重県教育文化会館

参加者 28名

内 容 令和元年度 総合相談・生活支援事例検討会

講義「事例検討の目的、進め方、ポイントについて」

講師 ルーテル学院大学 教授 福島 喜代子 氏

事例検討

発表者1 明和町社会福祉協議会 田端 理恵 氏

発表者2 松阪市社会福祉協議会 小松 直弘 氏

樋上 和志 氏

④新任専門員研修会の開催

平成31年4月17日 / 三重県社会福祉会館

参加者 31名

内 容 日常生活自立支援事業の概要について

支援の流れや使用する様式について

契約締結判定ガイドラインの取り方について～ロールプレイ～

講師 鈴鹿市社会福祉協議会 専門員 川北 小百合 氏

津市社会福祉協議会 専門員 廣門 友香 氏

先輩からのアドバイス、質疑応答

⑤生活支援員等研修会の開催

令和元年11月27日 / 三重県総合文化センター

参加者 152名

内 容 講演「知的障害者の意思決定支援について」

講師 有限会社 ウェルネット21 関口 広樹 氏

パネルディスカッション「支援のあり方を考える」

パネリスト 伊賀市社会福祉協議会 生活支援員 坂下 文子 氏

伊賀市社会福祉協議会 専門員 中井 日出男 氏

四日市市社会福祉協議会 生活支援員 加藤 かよ子 氏

四日市市社会福祉協議会 専門員 今井 ゆかり 氏

コーディネーター 有限会社 ウェルネット21 関口 広樹 氏

⑥その他（会議・研修会等への参加）

2019年度 都道府県・指定都市社会福祉協議会

日常生活自立支援事業・成年後見制度担当部・課・所長会議

令和元年6月3日 / 全国社会福祉協議会

令和元年度 精神保健福祉基礎研修

令和元年5月17・23日 / 三重県庁講堂

令和元年度 日常生活自立支援事業 専門員実践力強化研修会 I

令和元年7月17・18日 / 全国社会福祉協議会

2019年度 全国権利擁護支援ネットワーク 権利擁護人材養成研修事業

令和元年9月25日 / 名古屋市総合社会福祉会館

(3) 広報・啓発活動の充実

①パンフレット作成・配布（3,000部）

②研修会等における啓発

研修会等でパンフレットの配布・基幹的社会福祉協議会へのパンフレットの配付
ホームページに掲載

(4) 本事業に関する相談、契約締結件数

【相談件数】

市町名	認知症 高齢者など	知的障害者 など	精神障害者 など	不 明 その他	その他	合 計
桑 名	402	276	846	0	0	1,524
木曾岬	1	0	1	0	0	2
東 員	46	199	130	2	0	377
いなべ	73	276	346	128	0	823
四日市	2,201	2,203	4,412	135	0	8,951
朝 日	1	0	1	2	0	4
川 越	4	4	0	0	0	8
菰 野	151	419	741	48	1	1,360
鈴 鹿	385	1,553	1,176	165	0	3,279
亀 山	314	998	690	137	0	2,139
津	1,438	1,317	2,725	39	0	5,519
松 阪	687	201	1,004	85	0	1,977
明 和	102	15	44	6	0	167
大 台	6	6	0	4	0	16
多 気	31	10	20	2	0	63
伊 勢	928	229	675	63	0	1,895
玉 城	15	4	0	1	0	20
度 会	7	0	0	0	0	7
大 紀	0	4	5	0	0	9
鳥 羽	114	164	151	2	0	431
志 摩	815	1,091	699	306	0	2,911
南伊勢	4	0	2	1	0	7
伊 賀	1,636	1,782	2,078	310	0	5,806
名 張	1,057	2,272	1,780	225	0	5,364
尾 鷲	138	79	322	90	0	629
紀 北	7	6	1	1	0	15
熊 野	161	237	283	101	1	783
御 浜	2	1	3	0	0	6
紀 宝	39	0	59	0	0	98
三重県	2	1	6	6	0	15
合計	10,767	13,347	18,200	1,889	2	44,205

【契約締結件数】

市町名	認知症 高齢者など	知的障害者 など	精神障害者 など	その他	合 計
桑 名	16	5	8	1	30
木曾岬	0	0	1	0	1
東 員	1	1	0	0	2
いなべ	1	2	1	4	8
四日市	9	4	31	1	45
朝 日	0	0	0	1	1

川越	1	1	0	0	2
菰野	2	2	0	1	5
鈴鹿	5	3	10	1	19
龜山	1	1	2	1	5
津	31	16	27	2	76
松阪	19	2	10	2	33
明和	6	11	4	0	21
大台	5	5	4	1	15
多気	3	3	0	0	6
伊勢	20	3	9	1	33
玉城	6	1	0	1	8
度会	2	0	0	0	2
大紀	1	1	3	0	5
鳥羽	5	3	3	0	11
志摩	5	3	0	0	8
南伊勢	1	0	0	0	1
伊賀	7	4	3	1	15
名張	5	2	6	0	13
尾鷲	2	0	0	0	2
紀北	1	1	0	0	2
熊野	2	0	0	0	2
御浜	2	1	2	0	5
紀宝	0	0	0	0	0
合計	159	75	124	18	376

【解約件数】

市町名	認知症 高齢者など	知的障害者 など	精神障害者 など	その他	合計
桑名	6	0	4	0	10
木曾岬	0	1	1	0	2
東員	0	0	1	0	1
いなべ	1	0	0	0	1
四日市	42	9	19	2	73
朝日	0	0	0	1	1
川越	2	1	0	0	3
菰野	2	0	1	1	4
鈴鹿	7	0	5	0	12
龜山	5	1	3	0	9
津	28	5	14	1	48
松阪	25	19	10	0	54
明和	0	0	1	0	1
大台	0	0	0	0	0
多気	0	0	0	0	0
伊勢	12	1	4	0	17
玉城	3	1	0	0	4
度会	3	0	0	0	3
大紀	5	1	2	0	8
鳥羽	6	6	1	0	13
志摩	6	1	4	0	11
南伊勢	2	0	0	0	2

伊賀	11	2	6	1	20
名張	3	5	1	0	9
尾鷲	1	0	1	0	2
紀北	0	0	0	0	0
熊野	2	0	0	0	2
御浜	3	0	0	0	3
紀宝	2	0	0	0	0
合計	170	50	76	5	301

2 社協における成年後見制度の推進

(1) 成年後見制度の推進

①成年後見推進に向けた課題解決会議の開催

第1回 令和元年5月10日 / 三重県社会福祉会館

内 容 令和元年度の内容とスケジュールについて
成年後見（新任職員）基礎研修会について

第2回 令和元年6月28日 / 三重県社会福祉会館

内 容 成年後見基礎研修会の打合せ

第3回 令和元年10月25日 / 三重県社会福祉会館

内 容 令和元年度 成年後見にかかる基礎研修会の振り返り
令和元年度 成年後見制度の取組状況にかかる調査について
成年後見制度関係機関による意見交換会で提案された事業（案）について

第4回 令和2年1月17日 / 三重県社会福祉会館

内 容 成年後見制度の取組状況にかかる調査票の確認について
来年度の県事業について
成年後見推進会議について

②成年後見推進会議の開催

令和2年3月13日 / 三重県社会福祉会館 (中止)

内 容 グループワーク「成年後見に関する業務の各市町の現状・課題について」
情報交換会

③成年後見にかかる担当者の資質向上研修会の開催

ア 成年後見にかかる基礎研修会の開催

伊勢会場

令和元年7月12日 / 伊勢市生涯学習センター

参 加 12名

内 容 オリエンテーション

「成年後見推進に向けた課題解決会議および本研修の目的について」

皇學館大学 現代日本社会学部 教授 鶴沼 憲晴 氏

講義「成年後見の概要について」

講師 一般社団法人 三重県社会福祉士会

権利擁護センターばあとなあみえ 関口 広樹 氏

講義「成年後見の実務について」

講師 伊勢市社会福祉協議会 嶋垣 智之 氏

講義「中核機関の役割を踏まえた、本人情報シート、診断書について」

講師 津家庭裁判所伊勢支部主任書記官 田中 裕 氏

演習 申立支援（申立書の作成）

進行・説明 伊賀市社会福祉協議会 市川 しのぶ 氏

事例提供者 鈴鹿市社会福祉協議会 田中 浩樹 氏

津会場

令和元年7月19日 / 三重県社会福祉会館

参 加 30名

内 容 オリエンテーション

「成年後見推進に向けた課題解決会議および本研修の目的について」

皇學館大学 現代日本社会学部 教授 鶴沼 憲晴 氏

講義「成年後見の概要について」

講師 一般社団法人 三重県社会福祉士会

権利擁護センターばあとなあみえ 運営委員長 柴田 隆行 氏

講義「成年後見の実務について」

講師 津市社会福祉協議会 小川 志朗 氏

講義「中核機関の役割を踏まえた、本人情報シート、診断書について」

講師 津家庭裁判所書記官 石井 強 氏

中矢 覚 氏

演習 申立支援（申立書の作成）

進行・説明 四日市市社会福祉協議会 鈴木 智也 氏

事例提供者 桑名市社会福祉協議会 伊藤 竜輝 氏

ウ 成年後見関連業務担当職員研修会

令和2年3月27日 / 三重県社会福祉会館 (延期)

内 容 講演「高齢者の権利擁護支援について（仮）」

講師 楠井法律事務所 弁護士 楠井 嘉行 氏

講演「権利擁護支援の地域連携ネットワークの構築について」

講師 北海道社会福祉協議会

事務局次長兼権利擁護推進部長 中村 健治 氏

④その他（会議・研修会等への参加）

成年後見制度関係機関による意見交換会

第1回 令和元年6月24日 / 津市アストプラザ

第2回 令和元年9月3日 / 津市アストプラザ

成年後見制度利用促進に関する意見交換会

令和元年12月25日 / 津家庭裁判所

令和元年度 成年後見制度利用促進体制整備研修（基礎研修）

令和元年11月25～27日 / OMMビル

令和元年度 成年後見制度利用促進体制整備研修（都道府県担当者研修）

令和2年1月16日 / 全国社会福祉協議会

令和元年度 成年後見制度利用促進体制整備研修（応用研修）

令和2年1月21～23日 / 大阪ベイトワー

3 社会福祉事業者の苦情解決体制の整備

(1) 運営適正化委員会の運営

①運営適正化委員会「選考委員会」の開催

第1回 期 日 平成31年4月3日

内 容 運営適正化委員会委員の補充選出について

②運営適正化委員会の開催

第1回 期 日 令和元年5月27日

内 容 平成30年度事業報告について

令和元年度事業計画案について

第2回 期 日 令和2年3月12日

内 容 令和元年度の経過報告について

(2) 運営監視委員会の運営

第1回 期 日 令和元年5月27日

内 容 平成30年度事業実績報告について

平成31年3月及び4月の事業実施状況について

第2回 期 日 令和元年7月22日

内 容 令和元年5月及び6月の事業実施状況について

現地調査の実施について

- | | | |
|-----|-----|--|
| 第3回 | 期 日 | 令和元年9月6日 |
| | 内 容 | 令和元年7月及び8月の事業実施状況について
現地調査の実施について
運営適正化委員会事業研究協議会の報告について |
| 第4回 | 期 日 | 令和元年11月18日 |
| | 内 容 | 令和元年9月及び10月の事業実施状況について
現地調査の結果について |
| 第5回 | 期 日 | 令和2年1月14日 |
| | 内 容 | 令和元年11月及び12月の事業実施状況について
令和元年度市町社会福祉協議会事業実施状況調査の結果について |
| 第6回 | 期 日 | 令和2年3月12日 |
| | 内 容 | 令和元年度利用状況について
令和2年1月及び2月の事業実施状況について |

(3) 苦情解決委員会の運営

- | | | |
|-----|-----|------------------------------------|
| 第1回 | 期 日 | 令和元年5月27日 |
| | 内 容 | 苦情受付案件について |
| 第2回 | 期 日 | 令和元年7月22日 |
| | 内 容 | 苦情受付案件について |
| 第3回 | 期 日 | 令和元年9月6日 |
| | 内 容 | 苦情受付案件について
巡回指導（事業所訪問）について |
| 第4回 | 期 日 | 令和元年11月18日 |
| | 内 容 | 苦情受付案件について
巡回指導（事業所訪問）について |
| 第5回 | 期 日 | 令和2年1月14日 |
| | 内 容 | 苦情受付案件について
巡回指導（事業所訪問）の実施報告について |
| 第6回 | 期 日 | 令和2年3月12日 |
| | 内 容 | 苦情受付案件について |

(4) 調査研究事業の実施

平成30年度事業報告書の作成・配布 1,300部

(5) 広報・啓発活動の実施

啓発用品の作成・配布
苦情解決ポスター 3,000部

(6) 福祉サービス事業者などへの情報提供

ホームページによる情報提供
・社会福祉法に位置づけられた苦情解決制度の概要、平成30年度の苦情受付状況

(7) 福祉サービス事業所に対する巡回指導の実施

社会福祉事業者段階における苦情解決が適切に行われるよう、福祉サービス事業所を訪問して、苦情解決体制の整備状況や福祉サービスに関する相談・要望・苦情等への対応等について把握するとともに、必要に応じて助言・指導を行った。

第1回 実施年月日 令和元年11月28日
訪問施設・事業所
(放課後等児童デイサービス事業所) ハッピーテラス四日市北教室、
(就労移行支援事業所) 障害者ITカレッジ

第2回 実施年月日 令和元年11月29日
訪問施設・事業所

	<p>（就労継続支援A型事業所）アネラ、（就労継続支援B型事業所）心 road ころーど</p> <p>第3回 実施年月日 令和元年12月9日 訪問施設・事業所</p> <p>（就労継続支援A型事業所）トモニス、（就労継続支援B型事業所）夢工房こもれび</p> <p>第4回 実施年月日 令和元年12月12日 訪問施設・事業所</p> <p>（就労継続支援A型事業所）あぐり工房、（通所介護）みんなの家</p> <p>第5回 実施年月日 令和元年12月21日 訪問施設・事業所</p> <p>（就労継続支援B型事業所）みどりの家、（就労継続支援B型事業所）工房えがお</p>
<p>事業評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 日常生活自立支援事業の実績は、令和2年3月末時点で、実利用者数は1,891件となり、年々増加していますが、全国的にも新規契約件数は減少傾向である一方で解約件数が増加しており、実利用者数の伸びが鈍化している傾向があります。 成年後見にかかる基礎研修会では、基礎知識の習得だけにとどまらず、演習を交えた、より実践的な内容を今年度も継続して開催することができました。また、裁判所にも講師として研修に参加していただき、新しい様式について説明をしていただきました。県からの声掛けにより、成年後見制度関係機関による意見交換会に参加し、成年後見の推進に向けた取り組みについて話し合いを行いました。 福祉サービスの質的・量的変化や権利擁護の浸透を受け、福祉サービス利用に関する苦情内容は多様化・複雑化しています。 こうした状況の中、運営適正化委員会の開催をはじめ、年度後半は、現地調査・巡回指導等の事業を滞りなく実施し、県内事業所における苦情解決体制の整備・強化等、福祉サービスの適正化を図りました。また、「苦情解決マニュアル」改訂版の編集に取り組みました。
<p>今後の課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 日常生活自立支援事業については、令和元年度より全市町社協実施方式へ移行しており、令和元年度より新しく業務を受託した社協を中心に引き続き支援を行う必要があります。 また、持続可能な事業実施を行うための検討も必要です。 成年後見制度関連業務従事者のステップアップのための研修会の実施が市町社協から求められています。その他の成年後見推進会議の意見交換で浮かび上がったニーズや地域の課題について引き続き考える必要があります。 成年後見の取り組みが未実施の市町社協に対してのアプローチが必要です。 福祉サービス事業者の苦情解決の取り組みは、苦情対応規程の制定や苦情解決責任者及び受付担当者の設置等、体制整備が進められています。 一方で、依然として第三者委員の未設置事業所が存在するうえ、設置済事業所についても機能発揮が不十分なケースが散見されることから、巡回指導等を通じて、未設置事業所の解消や機能の充実強化が図られるよう働きかけを続けていくことが必要です。 また、小規模な事業所を中心に、研修機会の提供など職員の苦情対応能力の向上を図るための取り組みが必要です。

推進項目（２） 生活困窮者の自立支援					
担当部署	総務企画部 生活福祉資金センター 生活相談支援センター				
事業	生活困窮者自立相談支援事業 家計相談支援事業 生活福祉資金貸付事業 介護福祉士等修学資金貸付事業 児童養護施設退所者等に対する自立支援金貸付事業 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業				
事業展開	○多様化した相談に対応するため市町社協および県社協の相談機能を強化します。 ○生活困窮者自立支援法の趣旨に則り、県社協として必要な支援を展開します。 ○生活困窮者の自立に向けて各関係機関との連携を強化します。 ○生活福祉資金貸付事業の債務者の状況を把握し、自立支援を推進します。 ○児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業、ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業を通して自立した生活が円滑に始められるよう支援します。				
数値目標	生活福祉資金の期限内 債権の当年度償還率	単位	H30現状値	R2目標値	R1実績値
		%	71.4	53.0	71.4
		WBみえ21プラン第4期での達成率			307%
事業報告					
1 生活困窮者自立支援制度への参画					
(1) 自立相談支援事業の実施（相談実績）					
①新規相談受付件数 117件					
②プラン作成件数 56件					
③相談延べ回数 814件					
④支援調整会議数 81件					
⑤就労につながった件数 28件					
⑥生活保護につないだ件数 14件					
⑦新規相談の町別件数					
木曾岬町1件、東員町13件、菰野町13件、朝日町4件、川越町14件、明和町6件、大台町8件、玉城町7件、度会町4件、南伊勢町7件、大紀町2件、紀北町21件、御浜町12件、紀宝町0件、その他5件					
⑧支援調整会議の町別件数					
木曾岬町6件、東員町5件、菰野町5件、朝日町9件、川越町6件、明和町6件、大台町9件、玉城町9件、度会町2件、南伊勢町2件、大紀町0件、紀北町15件、御浜町3件、紀宝町3件					
⑨無料職業紹介 実績なし					
(2) 事業の周知および広報					
①関係機関・団体への制度周知・協力要請					
県福祉事務所・町・町社協生活困窮者自立相談支援担当者会議 平成31年4月25日 / 三重県社会福祉会館					
多気度会生活保護担当者連絡会議 令和元年5月8日 / 三重県伊勢庁舎					
伊勢志摩地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会 令和元年5月31日 / 三重県伊勢庁舎					
松阪地域精神保健福祉連絡会「こころ元気会」（松阪地域自殺・うつ対策ネットワーク会議） 令和元年5月31日 / 三重県松阪庁舎					
三重県居住支援連絡会 令和元年7月9日 / 三重県鈴鹿庁舎					
松阪地域精神保健福祉連絡会「こころ元気会」（松阪地域自殺・うつ対策ネットワーク会議）					

令和元年9月12日 / 南勢病院
 東紀州地域依存症ネットワーク会議
 令和元年9月26日 / 三重県尾鷲庁舎
 松阪地域精神保健福祉連絡会「こころ元気会」(松阪地域自殺・うつ対策ネットワーク会議)
 令和元年12月13日 / 松阪商工会議所
 三重県ひきこもり支援ネットワーク会議
 令和2年2月27日 / 三重県津庁舎
 紀北町民生委員研修会
 令和2年3月18日 / 紀北町役場 (中止)
 ニュースレターの発行 12回(毎月1回)

②広報

出張相談、広報(元気ですたまき まつり)
 令和元年6月2日 / 玉城町保健福祉会館
 出張相談、広報(明和社協ふれあい祭り)
 令和元年8月24日 / 明和の里・ありんこ
 出張相談、広報(紀北町雇用・生活・薬とこころの総合相談会)
 令和元年9月26日 / 紀北町町民センター
 出張相談、広報(紀北町雇用・生活・薬とこころの総合相談会)
 令和2年3月19日 / 東長島公民館 (中止)

(3) 家計相談支援事業の実施

①家計改善支援にかかる事務の実施

多気町を除く県内14町を対象とし、各町社協とコンソーシアムによる事業の実施
 事業実績(相談件数) 延べ113件

②家計改善支援に関する技術的な援助

木曾岬町社協(7月29日)、大台町社協(8月5日)

③家計改善支援業務従事者への研修会の開催

家計改善支援事業従事者研修
 令和元年11月22日 / 三重県社会福祉会館

(4) 生活困窮者支援に関するネットワーク構築の推進

①ケース会議の開催 5件(関係機関・団体と連携)
 町別件数 東員町1件、紀北町3件、紀宝町1件

2 生活福祉資金貸付事業の推進

申込・貸付決定状況

資金種類	申込状況		貸付決定状況		
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
総合支援資金	2	450,000	2	450,000	
総合支援資金(特例)	1	600,000	1	600,000	
福祉資金	緊急小口資金	150	8,820,000	137	7,250,000
	緊急小口資金(特例)	57	8,930,000	35	5,390,000
	緊急小口資金以外	39	8,654,000	38	8,527,000
教育支援資金	教育支援費	65	71,063,640	65	71,063,640
	就学支度費	72	35,822,000	72	35,822,000
不動産担保型生活資金	0	0	0	0	
合計	386	134,339,640	350	129,102,640	
要保護不動産担保型生活資金	1	8,323,000	1	8,323,000	

総貸付中件数 3,978件 ※不動産担保型生活資金(要保護世帯向け含む)・臨時特例
 つなぎ資金を除く

(1) 制度の周知・広報

- ①パンフレット、ホームページ等の活用による周知
- ②民生委員児童委員協議会への制度情報の提供
- ③県内教育委員会等への就学支度費の周知
- ④新任民生委員研修会での制度周知

(2) 相談機能の充実

- ①生活福祉資金担当職員研修会の開催
- ②県社協、市町社協間での相談事例の共有
- ③各市町社協窓口での対応の平準化への取り組み
- ④生活福祉資金貸付事業相談員研修会の開催
第1回 令和元年5月22日 / 三重県社会福祉会館
内 容 生活福祉資金貸付制度の目的と課題について
精神保健の観点を踏まえた窓口対応について
窓口での不当な要求・トラブルを回避するために

参加者 39名

※第2回は後述の特例貸付ブロック派遣の実施により延期。その後、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(3) 適切な貸付への取り組み

- ①生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催（毎月1回）
- ②市町調査委員会の設置推進
- ③全ての資金種別における生活困窮者自立支援制度との積極的な連携
- ④教育支援資金申請時の連帯借受人の償還意思確認の徹底

(4) 借受世帯支援の強化

- ①生活福祉資金貸付世帯経過確認書等による貸付金の使途確認の徹底
- ②民生委員による継続的な見守り活動のための連携と情報提供、引継ぎの支援
- ③既借入世帯の現況把握と、必要な支援情報の提供
- ④会議への参加

- ・全国生活福祉資金貸付事業担当職員研修会
令和元年7月23日・24日 / 全国社会福祉協議会
- ・東海北陸ブロック生活福祉資金業務研究協議会
令和元年7月30日・31日 / 岐阜県
- ・令和元年度生活福祉資金担当部課長会議
令和2年3月13日 / 全国社会福祉協議会
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例貸付の実施に関して

※特例貸付ブロック派遣の実施のため中止

- ・全国生活福祉資金貸付事業運営研究協議会
令和元年11月7日・8日 / 全国社会福祉協議会

(5) 債権管理の強化

- ①償還マニュアルを活用した滞納の段階別償還指導の徹底
- ②滞納初期段階での償還指導の充実
- ③滞納者面談調査の実施
- ④償還指導困難者に対する支払督促、訴訟、差押等法的措置の実施並びに償還業務の弁護士委任
- ⑤不動産担保型生活資金貸付世帯（要保護世帯向け、貸付終了含む）の現況把握と再評価の実施
- ⑥全市町社協への訪問による償還指導相談の実施
令和元年6月25日 / 鳥羽市社協
令和元年7月3日 / 亀山市社協

令和元年7月19日 / 南伊勢町社協（南勢支所）
 令和元年9月20日 / 熊野市社協・尾鷲市社協
 令和元年10月2日 / 多気町社協・明和町社協・玉城町社協
 令和元年10月8日 / 朝日町社協・東員町社協
 令和元年10月11日 / 川越町社協
 令和元年10月30日 / いなべ市社協・菰野町社協
 令和2年1月29日 / 名張市社協
 令和2年2月20日 / 大台町社協

※その他市町への訪問は特例貸付ブロック派遣及び新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(6) 特例貸付の実施

- ①令和元年台風第15号及び第19号による災害にかかる特例貸付ブロック派遣
 令和元年11月10日～11月15日 岩手県石巻市社会福祉協議会で災害時緊急小口特例貸付の窓口を開設し貸付相談を実施。
- ②新型コロナウイルス感染症の影響にかかる生活福祉資金特例貸付の実施
 令和2年3月25日から緊急小口資金及び総合支援資金（生活支援費）の特例貸付を開始。
 3月末時点貸付実績 緊急小口資金 35件539万円
 総合支援資金 1件 60万円

(7) 臨時特例つなぎ資金の貸付及び債権管理

貸付申請・決定件数	申込状況		貸付決定状況	
	件数	金額（円）	件数	金額（円）
臨時特例つなぎ資金	11	510,000	9	380,000

3 新たな貸付事業の実施

(1) 介護福祉士等修学資金貸付事業

- ①介護福祉士等修学資金の貸付及び債権管理
 貸付決定数 括弧内は留学生の人数

学校名	一次募集	二次募集	三次募集	計
三重介護福祉専門学校	1	1	2	4
四日市福祉専門学校	5(5)	3(3)	3(3)	11
高田短期大学	3	4	3(3)	10
ユマニテク医療福祉大学校	6(5)	3(3)	0	9
鈴鹿オアシス医療福祉専門学校	1(1)	3(3)	2(2)	6
計	16	14	10	40

※一次、二次募集は平成30年度中に審査・決定
 貸付決定金額：66,880,000円

- ②留学生に対する貸付の適正・円滑な実施
 ③就職した償還猶予者の経過確認の徹底
 ④中途退職者等への償還指導の徹底

(2) 介護人材再就職準備金貸付事業

- ①介護人材再就職準備金の貸付及び債権管理
 貸付決定件数・金額：2件 400,000円
- ②制度の周知徹底（福祉人材センター・種別協議会組織・職能団体・養成施設卒業生組織等）
 制度周知：令和元年7月21日 福祉・保育・看護の就職フェア
 令和2年2月24日 就職フェア・セミナー
- ③当該就職者の経過確認・支援の実施

(3) 介護福祉士実務者研修受講資金貸付事業

- ①介護福祉士実務者研修受講資金の貸付及び債権管理
貸付決定件数・金額： 126件 19,458,098円
- ②制度の周知徹底（福祉人材センター・種別協議会組織等）
- ③当該借受人の経過確認・支援の実施

(4) 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業

- ①児童養護施設退所者等に対する自立支援資金の貸付及び債権管理
貸付決定件数

資金種類	件数	金額（円）
生活支援費	2	4,200,000
家賃支援費	2	2,292,000
資格取得費	5	1,250,000
合計	9	7,742,000

- ②制度の周知徹底（児童養護施設協議会等）
- ③当該借受人の経過確認・支援の実施

(5) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

- ①ひとり親家庭高等職業訓練促進資金の貸付及び債権管理
貸付決定件数

資金種類	件数	金額（円）
入学準備金	14	7,000,000
就職準備金	9	1,800,000
合計	23	8,300,000

- ②制度の周知徹底（看護師・介護福祉士等養成施設、県母子・寡婦福祉連合会等）
- ③当該借受人の経過確認・支援の実施

事業評価

- 1 今年度は、前年度と比較し支援調整会議開催数、プラン作成件数ともに3倍強となっており、大幅な増加となっています。これは、今年6月から支援調整会議を各福祉事務所単位で毎月定例開催としたことによるもので、個々の案件を県福祉事務所、町、町社協等と情報共有し、連携を深めることができました。
- 2 市町社協担当職員研修会では、窓口対応の幅を広げるため、三重県こころの健康センターや三重県警の協力を得て内容を充実したものとしました。また、全29市町への訪問面談を開始し、面談した市町には債権管理の取組みについて再確認をしていただくとともに、顔の見える関係づくりの一環として期待の声をいただきました。
- 3 介護福祉士修学資金等貸付、児童養護施設退所者等自立支援資金貸付、ひとり親世帯高等職業訓練促進資金貸付の3事業は制度開始4年目に入り、安定した運営ができています。

今後の課題

- 1 ひきこもり状態にある方や長期無業者など、社会参加に向けてより丁寧な支援を必要とする方については、アウトリーチ等による積極的な情報把握により早期に支援につながることや、支援につながった後の集中的な支援が求められますが、現在十分なアウトリーチを実施するだけの人手が確保できていない状態です。
また、令和2年1月頃から感染拡大が始まった新型コロナウイルスの影響により、多くの人が職を失ったり、収入減につながることを考えられます。かつてリーマンショック後に生活保護率が上昇しましたが、その二の舞とならないよう生活保護に至る前の段階の自立支援策を適切に実施する必要があります。
- 2 市町社協への訪問はスケジュールの遅れに加えて災害対応・新型コロナウイルス感染症の影響により、全市町社協への訪問ができませんでした。次年度以降は計画通りに実施します。
高等教育無償化により、教育支援資金の貸付額の算定が複雑になっており、市町社協への周知が必要です。

要保護世帯向け不動産担保型生活資金の償還に関する相談が増加しているため、担保不動産の売却についての手続き等を担当者内で整理していく必要があります。

- 3 新たな貸付事業については、大きな課題はありませんが、今後も安定した債権管理に努めていくことが重要です。

基本目標 3 福祉人材の確保と資質向上

2025年問題や少子化対策を考えると、福祉人材の確保は国家的な課題ともいえます。福祉に携わる人数は一定数増加しているものの、必要とされている人数には全く足りていません。そのため、あらゆる手立てを講じて人材の確保に努めるとともに、現に福祉職場で働いている職員の資質向上にも引き続き取り組みます。

推進項目（1） 福祉人材の確保・定着の支援					
担当部署	福祉研修人材部 福祉人材センター				
事業	福祉人材センター運営事業 福祉介護人材確保対策支援事業 保育士・保育所支援センター事業 保育士修学資金貸付事業				
事業展開	○福祉以外の分野に従事している人に対して福祉分野への就業を支援し、多様な人材の参入を促進します。 ○潜在的有資格者やシニア世代の方で再就業を希望する人に対して就業を支援します。 ○職員の処遇に理解がある事業者の情報を収集し、広報することで県内の福祉事業者の職員処遇の底上げにつなげ異業種へ人材が流出しないよう支援します。 ○福祉や介護の仕事に興味や関心をもっていただけるように、その魅力ややりがいなどを様々な形でPRし、イメージアップを図ります。				
数値目標	福祉人材センター事業による就職者数	単位	H30現状値	R2目標値	R1実績値
		人	315	739	414
		WBみえ21プラン第4期での達成率			-49%

事業報告

1 三重県福祉人材センター

(1) 三重県福祉人材センター運営事業（無料職業紹介事業）

①無料職業紹介システム（COOLシステム）の活用と周知

（求人状況）

求人状況	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績
新規求人数	5,662人	5,801人	5,636人	5,876人
（内訳）正規職員	3,095人	3,305人	3,109人	3,472人
常勤職員	790人	785人	694人	634人
パート職員	1,777人	1,711人	1,833人	1,770人
新規求人件数	2,329件	2,340件	2,329件	2,439件
有効求人件数（累計）	6,754件	6,749件	6,895件	7,219件

（求職状況）

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績
新規求職者	1,093人	1,105人	789人	795人
一般	998人	1,082人	777人	781人
学生	95人	23人	12人	14人
有効求職者	3,400人	3,180人	2,232人	2,300人

（就職者数）

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績
就職者数	83人	89人	57人	62人
（センターからの紹介状発行数）	(130人)	(103人)	(63人)	(77人)
ネット応募による就職者数	18人	1人	0人	2人
（ネットからの応募用紙出力数）	(54人)	(2人)	(-)	(-)
（ネットからの応募数）	(-)	(-)	(6人)	(3人)

就職者数 合計 (紹介+応募)	101人	90人	57人	64人
--------------------	------	-----	-----	-----

(分野別と年代別) ※紹介+応募

	就職数 (人)	20代	30代	40代	50代	60代	70代
		高齢者分野	50	10	8	8	15
障害者分野	9						
児童分野	5						

(広報・啓発事業)

- ・インターネット情報更新・アクセス数 6,969件 (内 モバイル数 6件)
- ・福祉人材センターホームページ 随時更新
- ・フェイスブックによる情報発信 随時発信

②離職介護福祉士等の届出制度の運用

離職介護福祉士等の届出制度リーフレットの送付 4月～9月 1,008部

③求人情報誌の発行

年12回(4月～3月) 2,405部(配布先: 求職登録者、県内学校等)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
170部	170部	180部	190部	220部	220部
10月	11月	12月	1月	2月	3月
240部	240部	200部	195部	180部	200部

④メールマガジン配信事業の実施

毎月1日発行(4月～3月) 年12回発行

⑤福祉人材確保会議・研修会等への参加

COOLシステム担当者研修会 平成31年4月16日・17日、4月18日・19日
/ 全国社会福祉協議会

法令研修 令和元年5月23・24日 / 全国社会福祉協議会

雇用主説明会 令和元年5月29日 / 三重県総合文化センター

福祉人材センター全国連絡会議 令和元年9月18日・19日 / 全国社会福祉協議会

基幹職員会議 令和元年10月24日・25日 / 全国社会福祉協議会

職業紹介指導者講習会 令和2年1月15日 / ウィンクあいち

⑥東海北陸ブロック福祉人材センター連絡会議の開催・運営

1日目 令和元年10月3日 / 三重県教育文化会館

内容 福祉人材センター機能の充実・強化のための活動指針について

福祉人材センター・バンクの本年度の重点事業について

福祉人材の確保に向けたプラットフォーム(協議会等)の設置と推進について

介護福祉士等届出制度の登録者への支援について

2日目 令和元年10月4日 / 特別養護老人ホーム美里ヒルズ

内容 施設視察研修

⑦三重県福祉人材センター運営委員会の開催

第1回 令和元年6月17日 / 三重県社会福祉会館

内容 平成30年度三重県福祉人材センター関係事業報告について

令和元年度三重県福祉人材センター関係事業計画について

介護現場革新会議 三重県におけるパイロット事業の実施について

第2回 令和2年2月17日 / 三重県社会福祉会館

内容 令和元年度三重県福祉人材センター関係事業進捗状況について

令和2年度三重県福祉人材センター関係事業の実施について

「みえ介護フェア2019」実施報告について

外国人介護職員に関する調査結果報告について

(2) 福祉・介護人材マッチング支援事業

キャリア支援専門員を配置し、求職登録者に対するマッチング相談支援により、延べ797名を事業所に紹介し、うち176名が就職に繋がった。

①公共職業安定所における出張相談会の開催

三重県内10か所の公共職業安定所で「福祉・保育のおしごと相談会」(介護就職デイ・ミニ面接会含む)、78回開催した。また、希望者には、お仕事相談会の冒頭のミニセミナー(平成27年度から実施)も合わせて実施した。

公共職業安定所	区分	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計	ミニセミナー	平成30年度(実績)	ミニセミナー
桑名	相談	11(30)	7(13)	9(16)	1	28	(59)	41	304
	登録	0	0	3	1	4		4	
四日市	相談	8(2)	9(1)	8(9)	4	29	(12)	29	18
	登録	3	0	2	0	5		1	
鈴鹿	相談	11	5	10	1	27	(0)	37	18
	登録	1	0	1	0	2		6	
松阪	相談	6	4	6	0	16	(0)	21	2
	登録	1	0	1	0	2		0	
伊勢	相談	1	3	7	2(2)	13	(2)	11	0
	登録	0	0	1	0	1		2	
伊賀	相談	2	1	5	0	8	(0)	11	25
	登録	1	0	0	0	1		3	
名張	相談	0	3	1	1(1)	5	(1)	9	0
	登録	0	1	0	0	1		2	
尾鷲	相談	0	1	1	0	2	(0)	3	0
	登録	0	0	0	0	0		0	
熊野	相談	0	1	0	1(1)	2	(1)	4	0
	登録	0	0	0	0	0		0	
津	相談	—	3	9	5	17	—	16	—
	登録	—	0	2	3	5		2	
計	相談	39(32)	37(14)	56(25)	15(4)	147	(75)	182	367
	登録	6	1	10	4	21		20	

()内の数字は、ミニセミナー参加者数

伊賀・名張地区の「福祉のおしごと相談」は、伊賀地区老施協と共催で開催。

※鈴鹿8月台風で中止、3月新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

◇求職者の開拓および就職ガイダンスの実施

事業所名	令和元年度実績			30年度実績		
	回数	参加者数	求職登録者数	回数	参加者数	登録者数
公益財団法人 介護労働安定センター	1回	31名	31名	1	42名	38名
キャリア・アカデミー 松阪校・駅前校	6回	52名	55名	4	44名	45名

- ②福祉・介護職場等事業所訪問等による相談・助言活動の実施
 事業所訪問 120件を訪問し、相談・助言等を行った。(今年度目標120件)
 高齢者福祉施設85ヶ所、障害者福祉30ヶ所、児童福祉施設22ヶ所、保育所(園)4ヶ所
- ③福祉・介護事業所、学校、ナースセンター等の関係機関とのネットワークによる、人材の需給状況等の情報収集
- ア 高校訪問 医療福祉専門学校・短期大学・大学等23校
 イ マッチング支援相談件数 797件
 ウ バスツアー・就職フェア・ガイダンス等の啓発
 県内各ハローワーク・県内、県外学校(大学・専門学校・短大・高校など)
 介護職員初任者研修養成機関にポスター・チラシの配布および送付
- ④民間団体、行政等が開催する就職相談会への参加・協力
- ア 伊賀地区老人福祉施設協会と福祉のおしごと相談を共催(伊賀・名張地区各6回)
 イ 三重県私立保育連盟との就職フェアの共催
 ウ 行政・関係機関等主催の就職相談会等への参加

催事名	令和元年度実績				30年度実績	
	期日	会場	相談者数	求職登録者数	相談者数	求職登録者数
なばり保育士・幼稚園教諭就職フェア	5月26日	名張市防災センター	2名	2名	1名	0名
皇學館大学「福祉のシゴト説明会」	6月26日	皇學館大学	16名	1名	47名	0名
福祉・介護の就職総合フェア(愛知県)	6月29日	ウインクあいち	0名	0名	1名	0名
	1月26日	ウインクあいち	1名	0名	3名	0名
介護・看護職求人者説明会・就職相談会	7月16日	津公共職業安定所	3名	0名	2名	0名
	2月14日	津公共職業安定所	5名	3名	2名	0名
「介護の日」相談会	11月8日	津公共職業安定所	9名	2名	10名	0名
潜在保育士復職・就職支援研修会	1月15日	松阪市産業支援センター	1名	1名	1名	1名
しまこさん福福まつり	1月19日	阿児アリーナ	0名	0名	—	—
福祉フェスタ in 伊賀	2月9日	イオン名張	0名	0名	0名	0名
まつさか介護と就職の相談会	2月16日	松阪市産業支援センター	5名	0名	2名	0名
保育士ミニ面接会	2月18日	津公共職業安定所	1名	1名	1名	0名

- ⑤第1回福祉・保育・看護の就職フェア、就職セミナーの開催
- ア 第1回福祉の就職・保育・看護の就職フェア ※昨年実績 138名
 令和元年7月21日 / メッセウイングみえ
 参加者 福祉系151名(一般76名、学生33名、対象外学生42名)
 保育系209名(一般7名、学生202名)
 登録者 2名
 参加事業所 164事業所
 求人数 455件(1,144名)
 共催 三重県私立保育連盟、公益社団法人三重県看護協会
- イ 就活応援セミナー

令和元年7月21日 / メッセウイングみえ

テーマ 「自分に合う福祉の仕事の選び方」

講師 フリゲイトプランニング代表 小川 現樹 氏

参加者 88名 (一般48名、学生40名)

⑥第2回福祉の就職・保育・看護の就職フェア、就職セミナーの開催

ア 第2回福祉の就職・保育・看護の就職フェア※昨年実績 44名

令和2年2月24日 / 四日市市文化会館

参加者 46名 (一般22名、学生21名、対象外学生3名)

登録者 5名 (一般3名、学生2名)

参加事業所 43事業所

求人数 194件 (520名)

イ 就活応援セミナー

令和2年2月24日 / 四日市市文化会館

テーマ 「内定を獲得できる面談の話し方と面接の受け方」

講師 株式会社ちかなり 高田 晃一 氏

参加者 29名 (一般14名、学生15名)

ウ 福祉を知ろう!! イベント体験コーナー (第2回就職フェア・セミナー同時開催)

介護ロボット体験/認知症VR体験/福祉用具展示

⑦福祉職場就職ガイダンス

令和2年1月25日 / 三重県教育文化会館

内容 フクシでワタシを覗こっ!

【第1部】ワタシを覗こっ! ~働き方を計るモノサシを手に入れよう~

(1) 仕事探しの視点とは

【第2部】フクシを覗こっ! ~フクシの魅力をヒントに手に入れる! 私の価値観~

(1) フクシの魅力を覗く! 先輩が語るフクシの仕事のアレコレ

<高齢者施設/障害者施設/児童養護施設/保育所/社会福祉協議会>

(2) 手に入れた私の価値観を確認しよう

講師 NPO法人Mブリッジ 理事長 米山 哲司 氏

(PRプランナー/キャリアコンサルタント)

参加者 18名 (一般14名、学生4名)

⑧ミニ相談会等の啓発活動

令和2年3月15日 / イオンタウン伊勢ララパーク (中止)

⑨福祉の職場バスツアーの開催

Aコース 令和元年6月22日

参加者 14名 (一般8名、学生6名)

訪問先 (高齢者施設) ア 医療法人嘉祥会 介護老人保健施設 第二嘉祥苑アコラス

イ 社会福祉法人三重ベタニヤ

地域密着型特別養護老人ホームグレイスホーム

いこいの家小規模多機能型居宅介護支援事業所

Bコース 令和元年8月6日

参加者 18名 (一般7名、学生11名)

訪問先 (保育・児童) ア 社会福祉法人藤水福祉会 風の子藤水保育園

イ 社会福祉法人津市社会福祉事業団 児童養護施設なないろ

Cコース 令和元年10月19日

参加者 12名 (一般:10名、学生2名)

訪問先 (障害者施設) ア 社会福祉法人三央会 障害者支援施設 凜生園

イ 社会福祉法人おおすぎ 障害者支援施設 れんげの里

※30年度実績: Aコース (26名) Bコース (13名) Cコース (17名)

⑩新たな人材確保と活用するための働き方・雇用形態を学ぶ法人向け研修会の開催

職場体験事業、福祉・介護の魅力発信事業の連携により全3回のシリーズ化で開催し、第2回目について福祉・介護マッチング支援事業として実施した。

令和元年8月23日 / 三重県総合文化センター

内 容 「PR力向上セミナー」

第1部 福祉・介護人材の育成／定着／離職防止

第2部 自法人の魅力発信を考え、作成し実践

講 師 (株)リクルートキャリア事業開発 HELPMAN JAPAN グループ 坂本 宗庸 氏

参加者 60名

①福祉人材確保重点実施期間に人材確保重点相談会を開催

福祉人材確保重点実施期間(11月4日～17日)広報、啓発事業等の実施

各公共職業安定所で開催された介護デイに相談員を派遣

②その他関係機関との連携強化・協働の推進

皇學館大学「福祉のシゴト説明会」の開催※昨年度実績 47名

日 程 令和元年6月26日

内 容 福祉について

社会福祉協議会：三重県福祉人材センター

高齢者施設分野：社会福祉法人永甲会 特別養護老人ホームうねめの里

障害者施設分野：鳥羽市地域自立支援協議会 仕事部会

児童養護施設分野：社会福祉法人天理 児童養護施設天理教三重互助園

参加者 16名

共 催 学校法人皇學館大学

(3) 職場体験事業

①職場体験(一般・学生)

体験期間 令和元年5月～令和2年3月

体験者数 155名(※平成30年度 体験者数202名 △47名)

初任者研修70名、生活援助研修21名、潜在研修16名、シニア研修50名、
その他7名(一般6名、学生1名)

※複数研修受講者9名(初任者・シニア2名、生活援助・シニア6名、
潜在・シニア1名)のため、のべ164名

※新型コロナウイルス感染予防対策のため中止：2名(その他学生2名)

◇年代別体験者数

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
人数	4	21	13	15	19	59	23	1	0	155

◇属性別体験者数

属性	中学生	高校生	大学生	一般	合計
人数	0	2	12	141	155

就職者数 78名(うち人材センター無料職業紹介事業登録者75名)

(※平成30年度72名)

初任者研修52名、生活援助研修10名、潜在研修6名、シニア研修17名
その他1名(学生1名)

※複数研修受講者8名(初任者・シニア2名、生活援助・シニア4名、
潜在・シニア2名)のため、のべ86名

◇体験者の就職状況 ※前年度までの体験者含む

受入施設	体験終了後就職者数		合計
	体験先	体験先以外	
高齢者施設	18	44	62
障がい者施設	1	5	6
児童施設	0	3	3
その他	0	7	7

合計	19	59	78
----	----	----	----

※その他・・・訪問介護、社会福祉協議会、不明

◇年代別 就職者数

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
人数	1	12	9	9	10	27	10	0	0	78

体験日数 331日 ※新型コロナウイルス感染予防対策のため中止：6日

受入施設登録数：215か所（うち99か所で実際に受入）

〔高齢者146か所、障がい者37か所、児童17か所、
その他（複合型等）15か所〕

◇体験施設種別及び日数

種別	種別詳細	日数	種別	種別詳細	日数
高齢者 施設	特別養護老人ホーム	65	障がい者 施設	障害者支援施設	9
	介護老人保健施設	39		就労継続支援B型	3
	通所介護	147		生活介護	11
	ケアハウス	7		就労継続支援B型・ 生活介護	2
	小規模多機能ホーム	4		救護施設	2
	小規模多機能ホーム・ グループホーム	10		障がい者合計	27
	養護老人ホーム	2	児童施設	児童合計	0
	ショートステイ	3	その他	訪問介護	11
	有料老人ホーム	12		病院	2
	通所リハビリテーション	2		その他合計	13
	高齢者合計	291	合計 (日)		331

②職場体験受入事業所指導担当職員研修会の開催

期 日 令和元年5月28日 / 三重県総合文化センター

テーマ 『よりよい職場体験の受け入れ方』

講 師 社会福祉法人藤花会 特別養護老人ホーム・小規模多機能ホームせとうち
施設長 大城 憲一郎 氏

参加者 83名

(4) 福祉・介護の魅力発信事業

①小学校・中学校・高等学校訪問事業

訪問数 59ヶ所（小学校：7校、中学校：11校、高等学校：29校、専門学校：5校、
市町等教育委員会：6ヶ所、市町社協：1ヶ所）※のべ件数

②福祉の仕事セミナー及び学びセミナーの開催

実施回数 24回（中学校：16回、高校：8回）

受講者数 1,967名（中学校：1,774名、高校：104名）

その他の啓発 16回（三重県高等学校進路指導協議会、三重県私学協会理事会、
地域福祉活動推進協議会、福祉教育研究会総会、公立小中学校教頭会、
菰野町福祉協力校担当者会議、他）

③夏休み福祉の職場見学バスツアーの開催

日 程 令和元年8月20日

参加者 18名（中学生16名、高校生2名）

見学先 社会福祉法人いそやま会 いそやま保育園
学校法人みえ大橋学園 ユマニテク医療福祉大学校
社会福祉法人鈴鹿福祉会 鈴鹿グリーンホーム

④魅力発信のパンフレットの作成及び配布

⑤福祉の職場 PR に関する法人担当者研修会の開催

※今年度は各担当で実施している研修をより効果的なものとするためシリーズ化を検討・実施

令和元年11月26日 / 三重県総合文化センター

テーマ 「より良い介護人材の「確保」と「定着」のために」

講師 株式会社リクルートキャリア HELPMANJAPAN グループ 坂本 宗庸 氏

対象 三重県内の福祉施設・事業所の管理者、人事・採用担当者

参加者 8団体11名(第3回)

⑥「みえ介護フェア2019」の開催

開催日 令和元年11月17日

場所 イオンシネマ鈴鹿、イオンモール鈴鹿(中央コート、北コート、コモンデリ)

構成 特別上映会「ばあばは、だいじょうぶ」

特別講演会「明日を素敵に生きるには」(安藤 和津 氏)

介護ワンポイントレッスン、認知症 VR 体験、介護ロボット・福祉機器の展示・体験、健康測定 等

参加者 3,014名(のべ人数)

⑦みえこどもの城「キッズお仕事広場」への参画

令和元年7月7日 / 三重県立みえこどもの城

対象 小学生(一部その保護者含む)

出展内容 移動を助けるリフトを使って介護の体験をしよう!

～介護のための移動用リフトやスライディングボード・シート等を使った体験～

参加者 66名

⑧コミュニティスクールへの参画(2校実施)

※学校・家庭・地域社会が一体となってより良い教育を目指すという、地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりの仕組みの一環。

ア 津市立家城小学校(三重県立白山高校)

日時 令和元年10月31日

対象者 同校4年生8名、5年生7名(計15名)

内容 高齢者疑似体験、車いす体験等

イ 御浜町立阿田和小学校(三重県立紀南高校)

日時 令和元年11月1日

対象者 同校4、5年生(計30名)

内容 視覚障がい者体験、車いす体験等

⑨令和元年度 介護現場革新会議 三重県におけるパイロット事業

ア 学校訪問等の強化に向けたプロモーションビデオ等制作事業

目的と概要: 県内の学生、教職員、保護者に向けた、福祉・介護の魅力発信し、福祉・介護分野への若い人の参入を促すことを目的とした、訴求力のある親しみやすい内容で、特に若者が興味を持てる校正の動画、パンフレットの作成

実施期間: 令和元年7月から12月

啓発、PR活動: 県内の中学校、高校に向けて「介護福祉士会」と協同して実施
(PVの視聴、介護等についての講義、体験学習を併せて実施)

イ 教員のイメージ改善に向けた介護等体験受入プログラム等作成事業

目的と概要: 教員の福祉・介護の仕事に対するイメージを向上させる取り組みの一環として、教育職員免許取得時に必要な「教育職員免許法における介護等体験」のための介護等体験受入プログラム等を作成することにより、将来教員を目指す学生に対して福祉・介護の仕事の意義や仕事に対する魅力発信の強化を行うことを目的に実施。

実施期間: 令和元年7月から令和2年2月

(5) 介護職員初任者研修資格取得支援事業

①介護職員初任者研修の開催

介護職員初任者研修 (各回 定員39名: 講義13日・演習9日・修了式1日)

第1回 令和元年6月19日～8月16日 / 三重県社会福祉会館

第2回 令和元年8月19日～10月5日 / 皇學館大学

第3回 平成元年10月2日～12月3日 / 三重県社会福祉会館

②生活援助従事者研修の開催

生活援助従事者研修 (各回 定員39名: 講義9日・演習2日・修了式1日)

第1回 令和元年7月31日～9月25日 / 三重県社会福祉会館

第2回 令和元年12月13日～令和2年2月13日 / 三重県社会福祉会館

③受講生の状況及び就労実績 (3月末)

		申込者 (学生)	受講者数	平均年齢	修了者数	就職者数 (%)
初任者 研修	第1回	30名	29名	49.1歳	28名	19名 (65.5%)
	補講受講者	-	1名	-	1名	
	第2回	20名 〔一般 7名 学生 13名〕	19名 〔一般 6名 学生 13名〕	29.3歳	8名 就職対象 外の学年 9名	7名 (87.5%) ※
	第3回	29名	25名	49.9歳	24名	15名 (60%)
	補講受講者	-	1名	-	1名	
生活援 従事者 研修	第1回	8名	8名	52.1歳	6名	3名 (50.0%)
	第2回	21名	17名	64.4歳	12名	7名 (53.8%)
	補講受講者	-	1名	-	1名	
合計		108名	98名 ※補講者除く	48.9 歳	90名	51名 (56.7歳)
過年度修了者 就職者数						11名

修了生の年代別就職者数

年代	初任者 第1回	初任者 第2回	初任者 第3回	生活援助 1回目	生活援助 2回目	年代別計
10代	0名	0名	0名	0名	0名	0名
20代	3名	5名	3名	0名	0名	11名
30代	5名	0名	2名	0名	0名	7名
40代	2名	1名	2名	0名	0名	5名
50代	3名	0名	4名	1名	1名	9名
60代	5名	1名	4名	2名	5名	17名
70代	1名	0名	0名	0名	1名	2名
合計	19名	7名	15名	3名	7名	51名

④スキルアップセミナーの開催

令和2年3月5日 / 三重県社会福祉会館

テーマ 「介護記録の書き方の基本」

講師 社会福祉法人京都基督教福祉会 京都保育福祉専門学院 学院長 岡本 匡弘 氏

参加者 25名

(6) 小規模事業所等人材育成支援事業

①アドバイザー派遣事業

内容：希望相談内容をもとに、日程、アドバイザーを調整し、人材の採用・育成、
職員のモチベーション維持・向上等に関する助言、指導を行った。

実施事業所：23事業所（訪問介護5、グループホーム4、サービス付高齢者向け住宅4、放課後
等デイサービス3、就労継続B型2、地域密着型通所介護2、通所介護2、
居宅介護1）

◇相談内容の内訳

相談内容	件数
人材育成	9件
施設経営一般	5件
職員のモチベーションを維持・向上	4件
会計・税務	2件
衛生管理・施設整備	1件
職員の勤務条件	1件
障害者施設管理者の心得	1件

②研修講師派遣事業

実施事業所：64事業所、91回

（グループホーム14、訪問介護12、地域密着型通所介護9、通所介護9、サービス
付き高齢者向け住宅6、居宅介護4、放課後等デイサービス4、就労継続B型2、有
料老人ホーム2、就労継続A型1、認知症対応型共同生活介護1）

◇研修内容の内訳

研修内容	件数	研修内容	件数
リスクマネジメント	23件	コミュニケーション技術	5件
認知症のケア	17件	職種間連携の実践的展開	3件
介護記録作成のポイント	14件	人材育成	1件
介護職員の健康・ストレスの管理	12件	職員のモチベーションを維持・向上	1件
接遇・職場のコミュニケーション	8件	知的障がいや精神障がいの基本	1件
持ち上げない移動・移乗技術	6件		

(7) 潜在的有資格者等再就業促進事業

介護有資格者再チャレンジ研修 講習2日、施設体験2日(未就労者のみ)

- ①津会場 令和元年6月20日・28日 / 三重県総合文化センター生涯学習棟
- ②四日市会場 令和元年7月11日・19日 / じばさん三重
- ③松阪会場 令和元年9月19日・27日 / 松阪市産業振興センター
- ④伊賀会場 令和元年10月21日・29日 / 伊賀市ゆめぼりすセンター
- ⑤津会場 令和元年12月3日・13日 / 三重県総合文化センター生涯学習棟

(参加者数等一覧)

会場	申込み 者数	受講者数 (内 就労中の受講者)	受講者 平均年齢	職場 体験者	人材登録 者数	就職者数
津会場	14名	9名(1名)	45.1歳	4名	6名	5名
四日市会場	20名	17名(4名)	52.2歳	2名	11名	3名
松阪会場	18名	10名(1名)	57.0歳	4名	9名	3名
伊賀会場	15名	12名(2名)	61.1歳	4名	10名	2名
津会場	25名	20名(3名)	52.1歳	4名	12名	4名
前年までの受講	—	—	—	—	—	4名
合計	92名	68名(11名)	53.5歳	18名	48名	21名

(就労先種別、雇用形態)

	正規職員	正規以外	合計
特別養護老人ホーム	0名	1名	1名
介護老人保健施設	0名	1名	1名
救護施設	1名	0名	1名
有料老人ホーム	0名	1名	1名
サービス付高齢者住宅	0名	2名	2名
グループホーム	1名	1名	2名
デイサービス	1名	6名	7名
ショートステイ	1名	0名	1名
訪問介護	0名	1名	1名
就労継続支援B型	0名	1名	1名
共同生活援助	0名	2名	1名
不明	0名	1名	1名
合計	4名	17名	21名

(8) シニア世代介護職場再就職支援事業の実施

シニア生き生きチャレンジ教室の開催(各回 定員30名 講義3日 交流会1日 施設体験2日)

- ①四日市会場 令和元年6月5日・12日・20日・26日 / 四日市市三浜文化会館
- ②尾鷲会場 令和元年7月4日・10日・11日・17日 / 尾鷲市福祉保健センター
- ③名張会場 令和元年9月3日・5日・11日・17日 / 名張市防災センター
- ④松阪会場 令和元年10月2日・9日・17日・25日 / ワークセンター松阪
- ⑤津会場 令和元年11月6日・20日・28日・12月6日 / 三重県総合文化センター

(参加者数等一覧)

	参加者数			平均年齢	修了者数	職場体験者数	人材登録者数	初任者研修受講者数	生活援助従事者研修受講者数	介護有資格者研修受講者数
	男	女	計							
四日市会場	5	9	14	66	6	7	0	1	0	1
尾鷲会場	7	10	17	77	8	8	1	0	1	0
名張会場	11	17	28	70	12	12	6	1	0	2
松阪会場	3	20	23	68	12	14	5	0	3	1
津会場	12	13	25	71	10	10	4	0	4	0
H27津会場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
合計	38	69	107	70.4	48	51	16	2	8	6

(受講生の就職実績)

会場名	男	女	合計	職種	雇用形態
四日市会場	0	2	2	介護事務員、子育て支援員	正社員
尾鷲会場	1	0	1	福祉以外の仕事	不明
名張会場	3	2	5	介護職員、福祉以外の仕事	パート
松阪会場	1	6	7	介護職員、介護助手、管理者	パート
津会場	1	3	4	介護助手、生活支援員、お留守番係	パート
H27津会場	0	1	1	介護職員	パート
H30四日市会場	1		1	福祉以外の民間の会社	パート
H30名張会場	1	0	5	介護職員	パート
	0	1		介護職員	パート

	0	1		介護職員	パート
	1	0		介護職員	パート
	0	1		不明	パート
H30 松阪会場	0	1	2	福祉関係	パート
	0	1		不明	パート
H30 津会場	1	0	2	学童指導員	パート
	0	1		福祉以外の仕事	パート
合計	10	20	30		

(9) 働きやすい介護職場応援制度構築事業

①職場環境の改善取組「実行宣言」についての啓発パンフレット作成及び配布

ア 啓発パンフレットの増刷および配布

イ 事業所訪問：13件

◇平成30年度の宣言事業所の取組をまとめた「みえ働きやすい介護職場取組宣言事業所取組紹介集」を作成し、関係団体・学校・求職者などに配布し周知を行った。

②働きやすい介護職場の環境整備を行っている福祉・介護事業所からの「実行宣言」の申請受

付、申請内容の確認、「実行証」の交付、取組状況、結果報告の受理等

申請件数 13件

宣言事業所数 44事業所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
申請件数(法人)	2	3	0	2	3	1	0	1	1	0	0	0
宣言事業所数	2	19	0	8	7	3	0	2	3	0	0	0

③改善取組事例発表会等の開催

第1回 令和元年7月21日 / メッセウイングみえ

参加者数 88名

発表法人 2法人(社会福祉法人あけあい会、社会福祉法人青山里会)

第2回 令和2年2月24日 / 四日市市文化会館

参加者数 29名

発表法人 9法人(社会福祉法人鈴鹿福祉会、社会福祉法人洗心福祉会、社会福祉法人こもはら福祉会、社会福祉法人三重ベタニヤ、社会福祉法人永甲会、社会福祉法人アパティア福祉会、社会福祉法人青山里会、社会福祉法人慈幸会、社会福祉法人三重豊生会)

④ホームページでの「実行宣言」情報の公表・更新・管理

◇ホームページでの「実行宣言」情報の公表・更新・管理

◇SNS (Facebook) での宣言事業所紹介件数

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
宣言事業所紹介件数	3	3	3	0	0	8	8	6	0

宣言事業所紹介件数：31件

⑤取組事業所に対する支援

「小規模事業所等人材育成支援事業」との連携にて人材の採用・育成・定着等に関する研修講師の派遣を実施。

実施法人：4法人

ア 地域ケア株式会社 小規模多機能ホームとのむら / 令和元年9月19日

内容 介護職員の健康・ストレスの管理(ヨガ)

イ 社会福祉法人弘仁会 特別養護老人ホーム美里ヒルズ / 令和元年11月13日

内容 接遇・職場のコミュニケーション(利用者・家族等への接遇マナー)

ウ 社会福祉法人あやまユートピア 特別養護老人ホームぬくもり園 / 令和元年11月22日

内容 介護記録作成のポイント(記録の基本・ポイント)

エ 社会福祉法人慈幸会 特別養護老人ホームすいせんの里 / 令和2年1月31日

内 容 持ち上げない移動・移乗の技術（負担の少ない移動・移乗と支援方法）

⑥就職フェアでのブース優先配置及びのぼり旗の設置

就職フェアに参加した宣言事業所について、ブースを優先的に配置するとともに求職者に分かりやすいのぼり旗を設置した。

第1回 就職フェア 参加宣言事業所数：12宣言事業所

第2回 就職フェア 参加宣言事業所数：9宣言事業所

(10) 介護人材確保対策連携強化事業

①介護人材確保対策連携推進協議会の開催

第1回 令和元年6月6日 / 三重県社会福祉会館

報 告 各団体の平成30年度事業報告/令和元年度事業計画について

協議題 介護人材に関する状況及び今後の取り組みについて

「みえ介護フェア2019」について

第2回 令和元年8月20日 / 三重県社会福祉会館

報 告 介護現場革新会議 三重県におけるパイロット事業について

福祉・保育・看護の就職フェア実施状況について

ウェルビーイングみえ 策定にかかるアンケート結果について

協議題 「みえ介護フェア2019」開催について

外国人介護職員の雇用に関する調査結果について

今後の各団体の取り組み事業及び連携事項について

第3回 令和元年12月10日 / 三重県社会福祉会館

報 告 「みえ介護フェア2019」の報告について

介護現場革新会議 パイロット事業について

外国人介護職員の雇用に関する研修会について

協議題 みえ介護フェア 次年度開催に向けて

第4回 令和2年3月12日 / 三重県社会福祉会館

報 告 令和元年度各団体の取り組みの報告及び令和2年度計画(案)について

介護現場革新会議 三重県におけるパイロット事業について

協議題 今後の事業の連携等について

②福祉人材確保重点実施期間（11月4日～17日）広報、啓発事業等の実施

2 保育士・保育所支援センター

(1) 保育士確保・保育所支援関係機関連携会議（保育士・保育所支援センター運営会議）の実施

第1回 令和元年5月24日 / 三重県社会福祉会館

内 容 報 告 平成30年度 保育士・保育所支援センター事業実績報告

三重県保育士養成施設 卒業者数等について

協議 令和元年度 保育士・保育所支援センター事業計画について

保育士修学資金貸付等事業の実施状況について

保育士・保育所支援センターウェブサイトの作成について

その他

第2回 令和元年9月24日 / 三重県社会福祉会館

内 容 報 告 2019年度 新任保育士元気アップ研修会について

令和元年度 福祉・保育・看護の就職フェアについて

令和2年度（予約）保育士修学資金貸付等事業について

協議 三重県保育士・保育所支援センターウェブサイトの作成について

第3回 令和2年3月16日 / 三重県社会福祉会館 （中止）

内 容 報 告 令和元年度保育士・保育所支援センター事業実績報告（2月末時点）について

保育士修学資金貸付等事業について

各養成施設の状況について

協議 令和2年度 保育士・保育所支援センター事業について

令和2年度 新任保育士元気アップ研修会の企画案について
その他

(2) 潜在保育士復帰支援のための就労相談、就労支援の実施

◇保育所(園)等 新規事業所登録・新規求人件数・新規求人数・新規求職者数

事業所登録	求人件数	求人数	求職者数
34ヶ所	425件	1,094名	82名

※保育所(園)等 事業所登録総数 169ヶ所

保育所・認定こども園 124ヶ所

保育所以外 45ヶ所(母子生活支援施設、児童養護施設、事業所内保育所、小規模保育所等)

◇上記求職者の就職者数

保育所・認定こども園(子育て支援センター含む) 4名

保育所等以外 5名

※保育士・保育所支援センター重複登録者1名含む

①事業所(保育所等)の訪問 19カ所

◇就労相談・支援 795件 ※保育に関する内容のみ

電話・ 窓口	出張 相談	介護就 職デイ	就職フェア	なばり 就職フェア	松阪市 研修会	ハローワーク津 保育士相談会	総計
730件	42件	2件	15件	4件	1件	1件	795件

②ハローワーク等での出張相談会(「福祉・保育のおしごと相談」)の実施 ※定期相談会

開催場所 ハローワーク桑名・四日市・鈴鹿・松阪・伊勢・伊賀・尾鷲・熊野・
ハローワークプラザ名張

実施回数 74回

相談件数 42件

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月28日及び3月実施予定であった全ての
出張相談会を中止とした。

③その他(共催または他機関主催の説明会等へのブース等の参加)

「なばり保育士・幼稚園教諭就職フェア」(名張市主催)

令和元年5月26日 / 名張市防災センター

「介護就職デイ」(津公共職業安定所主催)

令和元年11月8日 / ハローワーク津

「介護就職デイ」(鈴鹿公共職業安定所主催)

令和元年11月8日 / ハローワーク鈴鹿

「松阪市潜在保育士復職・就職支援研修会」(松阪市主催)

令和2年1月15日 / 松阪市産業振興センター

「保育士説明会・相談会・見学会」(津公共職業安定所主催)

令和2年2月18日 / ハローワーク津

④保育士・保育所支援センター登録者への支援等

登録者数 427名

就職者数 保育所・認定こども園(子育て支援センター含む) 7名

保育所等以外(保育士) 1名

保育所等以外(別職種) 3名

情報提供 全体: 3回

地域限定: 5回

⑤潜在保育士の復帰を支援するための就労相談担当者の配置

専門相談員 3名

上記の事業所等訪問及びハローワークでの出張相談会の実施

	事業所(保育所等)訪 問	出張相談会	保育相談件数
4月	1ヶ所	3回	4件
5月	2ヶ所	3回	0件

6月	3ヶ所	3回	2件
7月	2ヶ所	3回	2件
8月	1ヶ所	3回	1件
9月		3回	4件
10月		3回	4件
11月		2回	6件
12月		3回	3件
1月			
2月	1ヶ所		
3月			

(3) 三重県保育士・保育所支援センターウェブサイトの作成・運用

公開 令和2年1月29日

ウェブサイトからの三重県保育士・保育所支援センター登録者数 34名

保育施設紹介情報の掲載 公開当初 164件 (公立19件、私立145件)

2月掲載 13件 (公立0件、私立13件)

3月掲載 2件 (公立0件、私立2件)

累計 179件 (公立19件、私立160件)

「保育士の声」掲載 5件

「園インタビュー」掲載 5件

SNS登録状況 Twitter フォロワー数 24名

LINE 有効友だち登録数 114名

(4) 新任保育士 就労継続支援研修会（新任保育士 元気アップ研修会）の開催

◇実施日程・会場

【四日市会場】令和元年6月3日・7月8日 / 四日市市三浜文化会館

【津会場】令和元年6月10日・7月16日 / メッセウイングみえ、サオリーナ、三重県社会福祉会館

◇内容・講師 ※四日市会場・津会場共通

1日目 ・保育計画作成のポイント

講師 厚生労働省 子ども家庭局保育課 保育専門調査官

社会福祉法人友愛福祉会 おおわだ保育園 理事長 馬場 耕一郎 氏

・造形遊び

講師 絵本作家 あそび作家 浦中 こういち 氏

2日目 ・子どもの健やかな発達を支える、保育環境構成

講師 社会福祉法人子どものアトリエ 城東よつば保育園 園長 瀧 薫 氏

・運動遊び

講師 三重大学教育学部附属幼稚園 教諭 辻 彰士 氏

◇申込者数 190名

◇受講者数 184名 ※1日のみの参加、代理で1日参加等も含む

◇2日間受講者数 169名 ※別会場にて2日間受講も含む

<各日程別出席者数>

	第1日目	第2日目
四日市会場	76名	72名
津会場	105名	101名

(5) 保育所経営者・管理者 職場環境改善研修会の開催

◇各ブロック詳細

【南勢ブロック】

令和2年1月16日 / 名張市防災センター

テーマ 「危機管理・防災研修」 ～リスクマネジメントから学ぶ保育の質の向上～

講師 株式会社保育安全のかたち 代表取締役 遠藤 登 氏
【伊賀・名張ブロック】
 令和2年1月30日 / 名張市防災センター
 テーマ 「働きやすい保育職場づくり」～若手保育士の早期離職を防ぐ
 保育カンファレンス～

講師 大阪青山大学 健康科学部 子ども教育学科 准教授 黒澤 祐介 氏
【中勢ブロック】
 令和2年2月19日 / 三重県社会福祉会館
 テーマ 「危機管理・防災研修」～リスクマネジメントから学ぶ保育の質の向上～

講師 株式会社保育安全のかたち 代表取締役 遠藤 登 氏
【北勢ブロック】
 令和2年2月26日 / じばさん三重
 テーマ 「働きやすい保育職場づくり」～若手保育士の早期離職を防ぐ
 保育カンファレンス～

講師 大阪青山大学 健康科学部 子ども教育学科 准教授 黒澤 祐介 氏

◇研修受講者

受講者数 130名
 各ブロック別受講者数

	北勢	中勢	伊賀・名張	南勢	合計
申込者数	54	29	42	42	167
受講者数	32	27	34	37	130

(6) 福祉・保育・看護の就職フェア（三重県私立保育連盟・公益社団法人三重県看護協会共催）

令和元年7月21日 / メッセウイングみえ
 参加者 209名（一般7名、学生202名） ※全体360名
 相談者 14名
 参加事業所 保育所等 77ブース ※全体164
 求人件数 107件
 求人数 300件
 就職者数 51名

(7) 保育士修学資金貸付等事業の実施（※補助事業）

①令和元年度保育士修学資金の貸付

貸付人数 30名
 貸付額 月額50,000円以内（年4回に分けて交付）
 貸付期間 養成施設に在学する期間、2年間を限度とする
 辞退者 1名（9月に退学の為）

②令和2年度（予約）保育士修学資金の貸付

貸付人数 30名（貸付審査会において貸付予約者及び貸付補欠者を決定）
 貸付額 月額50,000円以内（年4回に分けて交付）
 貸付期間 養成施設に在学する期間、2年間を限度とする

◇令和2年度（予約）保育士修学資金貸付審査会

期日 令和元年11月27日 / 三重県社会福祉会館
 申込者数 37名
 貸付予約決定者数 30名
 補欠者数 1名

③保育士就職支援準備金貸付事業

貸付額 400,000円以内1人1回限り
 対象費用 県内の保育所等への就職にあたって必要な費用
 貸付者 なし

※平成29年度の貸付者2名が2年間従事による返還免除となった。

事業評価

- 1 人材センター運営事業では、平成30年度より求職登録者数が減少してきている中、継続して実施しているきめ細やかな就職支援の結果として今年度は、紹介状発行による就職者数が若干ではあるが昨年を上回りました。
- 福祉・介護マッチング支援事業については、就職フェアの事前申込制が定着することにより参加者数を事前に把握のうえ啓発方法を検討した結果、第1回の就職フェアでは昨年を上回る151名の参加者を得ることができました。また、私立保育連盟との共催による就職フェアの実施により、就職者数が目標の30名を大きく上回り63名の就職者数となりました。
 - 職場体験事業については、前年度に比べ全体の体験者数・体験日数は減少しましたが、職場体験後に体験先で就職する例は多く、70代の体験者の就職などは体験利用の効果があったと考えられます。年度末の体験者アンケートでは質問項目を追加し、今後の対応に役立つ情報を収集することができました。
 - 福祉・介護の魅力発信事業について、今年度はセミナーの内容等のメニュー化を図り、内容等を更に理解しやすくなる工夫を講じた結果、昨年度を上回る申込や問合せがあり、昨年度以上の実施に至りました。新たな取組みとして「キッズお仕事広場」、「コミュニティスクール」との連携、令和元年度 介護現場革新会議 三重県におけるパイロット事業の実施にて「学校訪問等の強化に向けたプロモーションビデオ等制作」、「教員のイメージ改善に向けた介護等体験受入プログラム等の作成」を行い授業の枠を超えた福祉・介護の魅力発信が実施できました。
 - 介護職員初任者研修資格取得支援事業では、第2回の開催を、皇學館大学との共催により地域開催（伊勢市）として実施したことで、伊勢志摩地域や松阪地域の参加者があり地域開催の成果がありました。今年度初開催の生活援助従事者研修では、受講者の平均年齢は高い傾向にありますが、就労支援により短時間就労への支援ができました。
 - 小規模事業所等支援事業では、事業所と講師の事前打ち合わせを行うことで事業所のニーズに沿った研修となりました。また、遠方（離島）などの事業所は研修へ行くことが困難なため、昨年同様に大変喜んでいただけました。
 - 潜在的有資格者等再就業促進事業については、周知方法を見直し受講者の増加につながりました。また、受講内容もより介護の現状を学べるものとしたことで、受講者から高い満足度を得られました。
 - シニア世代介護職場再就職支援事業については、周知方法を見直し参加者が増加しました。また受講者のうち16名が、介護職員初任者研修等の資格取得研修の受講へと繋がりました。さらに講義内容に、職場体験を組み込むことで就労への意欲が増し過去最高の就職者数となりました。
 - 働きやすい介護職場応援制度構築事業では、昨年度の宣言事業所の取組をまとめた「取組紹介集」を作成し、関係団体・学校・求職者などに配布し周知を行いました。また、SNS (Facebook) での宣言事業所紹介の発信や、就職フェアでの宣言事業所ブースへののぼり旗の設置等により申請の問い合わせも増加しました。
- 2 保育士・保育所支援事業では、新任保育士就労継続支援研修会において昨年度から日程やカリキュラム、時間配分等を見直して実施した結果、日々の業務にすぐ活かせる実践的内容やグループワークを多数盛り込んで実施したため、新任保育士同士の情報や悩みの共有の場となる時間が多く見受けられました。
- 三重県の保育に関する情報をまとめた、三重県保育士・保育所支援センターウェブサイト「みえのほいく」を作成し、事業所、求職者双方に活用していただける充実した内容のものとなりました。今後は情報を充実させ、潜在保育士等の就労につなげていくことが求められます。保育士修学資金貸付については、高校で予約という形が浸透してきたこともあり、概ね順調に事業は進行しましたが、養成施設を退学してしまう学生や、卒業後に保育士として働いていただけない方がいるのも現状です。保育士就職支援準備金貸付については、国の要綱改定に伴い貸付対象者の条件が緩和されましたが、今年度の利用はありませんでした。

今後の課題

- 1 人材センター運営事業、福祉・介護マッチング支援事業では、事業所からのシステム上でのスカウト機能を活用するために、インターネット登録者を増やしていくことが課題です。昨今、求職登録の年代が高年齢化しており、従来どおりの代行登録が多くなっています。インターネット登録を増やすためには、学生や若年層の求職者に対し、インターネット登録を勧奨していく必要があります。さらにインターネット登録者に対しても代行登録者同様にきめ細やかなマッチング支援のため、求人情報誌の送付やイベント情報提供など事業を進めていきます。
 - 職場体験事業では、体験者と受入施設双方のニーズに応え意義のある体験を行い、就職者数増加に繋げることが引き続き課題です。体験内容・日数・求職条件等の体験者の希望に応えられるよう、より多くの受入施設を確保し、調整時の受入施設との交渉や情報収集等マッチング強化に努めます。
 - 福祉・介護の魅力発信事業では、現状、教職員や保護者の福祉・介護事業へのイメージが良いとは言えず、教職員・保護者に向けた更なる魅力発信への取組強化が必要です。他機関との連携による魅力発信については、引き続き県内の各団体等が計画している福祉・介護に関する各種イベント等への積極的な参画を計画し、広く PR することが肝要です。
 - 介護職員初任者研修資格取得支援事業、潜在的有資格者等再就業促進事業、シニア世代介護職場再就職支援事業では、受講生の就職率をあげるため、受講中の早い段階から就労支援を行うよう努めていきます。また、子育てや親の介護などにより受講後直ぐ就労できない方に対しても、継続的な就労支援を行っていく必要があります。受講者が高年齢化していることもあり、多様な世代が受講できる仕組みや周知方法を検討する必要もあります。
 - 小規模事業所等支援事業では、事業所側の求めるニーズにあった講師・アドバイザーを派遣するため、事業所が希望する内容を更に細かく聞き講師へ伝えるとともに、事業所と講師の打ち合わせの時間を確保できるよう進めていく必要があります。遠方へ出向いてくださる講師が少ない状況は続いており、今後は拘束時間等を踏まえ謝金の見直し等が求められます。
 - 働きやすい介護職場応援制度構築事業では、宣言の申請数も少ないため、継続して事業所等への事業の啓発やアピールする方法を検討するとともに、事業所支援の内容を充実していく必要があります。
- 2 保育士・保育所支援センター事業では、登録者に対して、復帰支援等のためのアプローチが十分にできていなかったため、作成したウェブサイト「みえのほいく」の周知、活用を促すとともに、情報提供のみでなく、就労相談、就労支援に力を入れていく必要があります。

また、「みえのほいく」に掲載している三重県内の保育施設紹介の掲載情報を増やしていくためにも、就職フェアとの協働や、事業所訪問にて個別に保育士・保育所支援センターやウェブサイトについて理解し、活用していただけるようアプローチしていくことが求められます。保育士修学資金貸付の申請で高所得世帯が多くなってきたので、貸付人数や所得制限を設ける等の対応が必要となっています。養成施設と連携し、就労後のフォローの必要性もあります。

保育士就職支援準備金は、どのようにしたら利用しやすくなるかを考えていく必要があります。

推進項目（２） 福祉人材の資質向上

担当部署	福祉研修人材部 三重県社会福祉研修センター 三重県介護支援専門員試験・研修センター				
事業	社会福祉研修センター事業 喀痰吸引等（第一号・第二号）研修 喀痰吸引等（第三号）研修 喀痰吸引等指導者養成研修 障害者虐待防止・権利擁護研修会 三重県介護従事者確保補助金事業 介護支援専門員試験・研修センター事業 介護支援専門員資質向上研修事業				
事業展開	○多くの法人、施設の職員が研修に参加しやすい仕組みを作ります。 ○従来の生涯研修課程からキャリアパス対応生涯研修課程に、福祉職員のキャリアパスの構築を支援する研修体系へと段階的に移行します。 ○福祉施設、事業所において、職員の継続的な育成体制を確立するために、キャリアパスが主体的に整備されるよう支援します。 ○多様化する研修ニーズに対応できるよう、魅力ある講師のさらなる発掘、カリキュラムの企画に努め、研修技法の充実を図ります。 ○介護支援専門員実務研修、資質向上研修等の講師の確保・養成を進めます。				
数値目標	生涯研修、業種別研修、課題別専門研修、養成研修の参加法人数	単位	H30現状値	R2目標値	R1実績値
		法人	363	330	369
	WBみえ21プラン第4期での達成率				218%

事業報告

1 研修への参加促進

(1) 研修委員会の開催

- 第1回 令和元年8月30日 / 三重県社会福祉会館
内容 正副委員長の選出について
令和元年度研修事業の進捗について
- 第2回 令和元年12月25日 / 三重県社会福祉会館
内容 令和2年度研修事業の企画について
- 第3回 令和2年2月18日 / 三重県社会福祉会館
内容 令和元年度研修事業の進捗について
令和2年度研修事業の企画について

(2) キャリアパス対応生涯研修課程講師会議

- 第1回 令和元年5月23日 / 三重県社会福祉会館
内容 令和元年度キャリアパス対応生涯研修課程について
- 第2回 令和2年2月17日 / 三重県社会福祉会館
内容 令和元年度実施結果の報告および振り返りについて
令和2年度キャリアパス対応生涯研修について

(3) 生涯研修及びキャリアパス対応生涯研修受講履歴の活用

2 福祉職員のキャリアアップ支援

(1) 社会福祉施設職員等研修事業の実施

① キャリアパス対応生涯研修課程の開催

研修課程	期 日		日数	修了者数
チームリーダーコース	7月24日	7月25日	2日	63名
	7月30日	7月31日	2日	61名

	8月 7日	8月 8日	2日	70名
	8月21日	8月22日	2日	74名
中堅職員コース	9月 4日	9月 5日	2日	60名
	9月10日	9月11日	2日	51名
	9月19日	9月20日	2日	54名
	10月 2日	10月 3日	2日	48名
	10月10日	10月11日	2日	46名
初任者コース	11月 7日	11月 8日	2日	55名
	11月13日	11月14日	2日	49名
	11月21日	11月22日	2日	57名
	12月 4日	12月 5日	2日	43名
	12月10日	12月11日	2日	40名
管理職員コース	1月23日	1月24日	2日	43名
合計			30日	814名

3 多様化する研修ニーズへの対応

(1) 業種別研修の開催

研修課程		期 日	受講者数	
老人福祉施設 職員研修	I	元気を引き出す楽ワザ介護術	5月13日	76名
	II	笑顔を生む認知症ケア	1月10日	47名
障害福祉施設 職員研修	I	障害者差別解消法及び関連条例をふまえた合理的配慮の取組	7月11日	43名
	II	知的障害を伴った自閉症スペクトラム障害の理解と対応	6月6日	71名
児童福祉施設 職員研修	I	新しい社会的養育ビジョンをふまえた施設と里親の協働	6月20日	24名
保育所職員研修	I	保育士のメンタルケアのための心理学	2月14日	29名
合計			6日	290名

(2) 課題別専門研修の開催

研修課程		期 日	受講者数
I	改正社会福祉法～社会福祉法人の運営・フォロー～	4月19日	48名
II	発達障がいのある子どもへの支援、医療機関との連携	5月24日	52名
III	思いを届ける！ロジカル・シンキング	6月26日	51名
IV	コミュニケーション～指導の仕方・指導の受け方～	7月 2日	95名
V	組織活性化～いきいきと働ける職場を作る～	7月17日	44名
合計		5日	290名

(3) 公開保育の開催

開催市町	開催地	期 日	参加者数
四日市市	にじのはな保育園	7月26日	21名
伊賀市	しろなみ保育所	11月 6日	18名
いなべ市	三里保育園	11月13日	23名
度会町	長原保育所	11月14日	15名
津市	ぼだいじこども園	12月6日	20名
合計		5日	97名

(4) 自主企画研修の開催

研修課程	期 日	受講者数
社会福祉施設における災害への備え	6月24日	79名
子どもと心を通わせる遊び	7月5日	19名
保育記録・保育要録の書き方	12月1日	102名
保育所保育指針を事例から深く学ぶ	1月11日	64名
一人ひとりに向き合ったレクリエーション	1月16日	26名
当事者と語ろう。認知症の人と共に生きていく	12月 3日	28名
合計	日	318名

(5) 新人職員対象研修会の開催

- A日程 平成31年4月24日 / 三重県社会福祉会館
 受講者 31名
- B日程 令和元年5月9日 / 三重県社会福祉会館
 受講者 60名
- C日程 令和元年5月15日 / 三重県社会福祉会館
 受講者 47名

(6) 認定介護福祉士養成研修

一般社団法人三重県介護福祉士会主催事業に共催として開催した。

(7) 教員免許法による介護等体験事業の実施

介護等体験申込状況 申込大学数 20校21学部
 申込学生数 592名

介護等体験受入調整状況 受入施設数 126施設
 体験終了者数 578名

(8) 喀痰吸引等研修会の開催

①喀痰吸引等研修実施委員会

- 第1回 令和元年6月13日 / 三重県社会福祉会館
 第2回 令和2年3月10日 / 三重県社会福祉会館 (中止)

②喀痰吸引等(第一号・第二号)研修

基本研修(講義および筆記試験・演習)

実施内容	期 日	会 場	受講者数	修了者数
講義(50時間)	8月1日・6日・ 9日・16日・ 23日・28日 31日・9月3日	三重県社会福祉会館	32名	32名
筆記試験	10月 1日	三重県社会福祉会館	32名	28名
筆記試験(再)	10月11日	三重県社会福祉会館	4名	4名
演習※1	10月31日 11月1日	三重県社会福祉会館	33名	32名
演習(再)	11月15日	三重県社会福祉会館	1名	1名

※1 受講者数には、昨年度演習未受講者を含み、今年度演習受講生の内1名は時間内に演習を合格できなかったため、再演習となった。

実地研修(3月31日時点)

基本研修修了者 33名(実地研修修了者21名)

実地研修受講者(基本研修免除者) 35名(実地研修修了者14名)

※実地研修修了者には一部行為のみの修了者を含む。

※年度を越え、終了基準を満たす結果報告があった場合、修了証書を随時発行している。

③喀痰吸引等（第三号）研修（特定の者対象）

基本研修（講義および筆記試験・演習）

実施内容	期 日	会 場	受講者数	修了者数 ※合格者数
講義（8時間）	9月18日	三重県社会福祉会館	23名	23名
	9月21日	三重県社会福祉会館	23名	23名
筆記試験	9月25日 午前	三重県社会福祉会館	20名	23名
筆記試験（再）	9月25日 午後	三重県社会福祉会館	3名	3名
演習 ※受講者は1日参加	9月28日	三重県社会福祉会館	23名	23名
	10月9日			

現場演習および実地研修（3月31日時点）

基本研修修了者 23名 実地研修修了者 19名 修了証書発行数 40枚

※行為及び対象者ごとに修了証書を発行。

④喀痰吸引等指導者養成研修

A日程 令和元年9月27日・28日 / 三重県社会福祉会館

B日程 令和元年10月8日・9日 / 三重県社会福祉会館

修了者数 30名

(9) 福祉有償運送運転者講習会の実施

第1回 令和元年5月11日 / 三重県社会福祉会館

12日 / ハートフルみくも スポーツ文化センター

修了者数 21名

(10) 障害者虐待防止・権利擁護研修会の実施

①障害者虐待防止・権利擁護研修の企画会議

令和元年8月29日 / 三重県社会福祉会館

令和元年11月5日 / 三重県社会福祉会館

令和元年11月20日 / 三重県総合文化センター

令和2年1月27日 / 三重県社会福祉会館

②障害者虐待防止・権利擁護研修

研修課程	期 日	会 場	受講者数
共通講義	11月20日	三重県総合文化センター	215名
市町及び障害者虐待防止センター職員コース	12月16日	三重県社会福祉会館	22名
障害福祉サービス事業所管理者等コース	2月5日	サン・ワーク津	103名

(11) 三重県介護従事者確保補助金事業の実施

①職場内研修体制構築研修

令和2年2月26日 / 三重県社会福祉会館

受講者 21名

②もっと“つながる”共感コミュニケーション～人がイキイキ！会議がワクワク！～

令和2年3月3日・4日 / 三重県社会福祉会館

受講者 35名

4 介護支援専門員実務試験・研修センター機能の強化

(1) 介護支援専門員実務研修受講試験の実施

令和元年10月13日 / 四日市大学・皇學館大学

試験受験者数 試験申込者数 775名

受験者数 679名
 当日欠席者数 96名
 合格者数等 受験者実数 679名
 合格者数 132名 合格率 19.44%

(2) 介護支援専門員実務研修会の開催 (16日間【実習3日間】 2コース)

コース	集合研修	コース別研修	受講者数	修了者数
A	12月24日 12月25日	1月14日・15日・21日・22日・29日 1月30日 2月21日・28日 3月17日・18日・19日・25日・26日	64名	62名
B	1月8日	1月25日・26日・ 2月1日・2日・11日・15日 3月14日・15日・28日・29日・ 4月11日・12日・25日	66名	65名

(3) 介護支援専門員実務未経験者更新研修・再研修の開催 (10日間 4コース)

コース	集合研修	コース別研修	受講者数	修了者数
A	9月11日 9月12日 9月13日	9月17日・25日 10月4日 11月6日・19日・20日 12月4日	67名 (再7)	66名 (再7)
B		9月26日 10月17日・24日 11月7日・20日・21日 12月5日	61名 (再14)	61名 (再14)
C		10月4日・31日 11月1日・13日・21日・29日 12月6日	56名 (再12)	56名 (再12)
D		10月19日 11月2日・3日・23日・24日 12月7日・8日	62名 (再13)	62名 (再13)

(4) 介護支援専門員資質向上研修事業の実施 (三重県介護支援専門員協会が実施)

① 専門研修課程 I (8日間 5コース)

コース	集合研修	コース別研修	受講者数	修了者数
1	5月23日 5月30日 5月31日	6月4日・13日・27日 7月17日 8月6日	45名	45名
2		6月5日・14日・28日 7月18日 8月7日	45名	45名
3		6月6日・18日 7月4日・19日 8月8日	49名	49名
4		7月10日 8月8日・28日 9月6日・27日	27名	26名
5		7月6日 7月13日・20日 8月18日・31日	19名	19名

②専門研修課程Ⅱ（5日間 10コース）

コース	コース別研修		受講者数	修了者数
あ	5月24日	6月11日・19日 7月3日・10日	58名	58名
い		6月12日・20日 7月4日・11日	59名	59名
う		6月13日・21日 7月5日・12日	59名	59名
え	7月2日	7月3日・19日 8月22日、9月5日	59名	59名
お		7月5日・25日 8月23日、9月6日	54名	53名
か	9月3日	9月4日・20日 10月3日・23日	52名	52名
き		9月18日・19日 10月30日、11月19日	50名	50名
く	10月16日	10月29日 11月14日・27日・28日	52名	52名
さ	6月22日	7月6日、8月17日 9月21・22日	56名	56名
し	10月5日	10月6日・10月22日 11月30日、12月22日	56名	56名

③主任介護支援専門員研修（12日間 3コース）

コース	集合研修	コース別研修	受講者数	修了者数
A	11月12日 11月13日 11月14日	11月30日 12月12日・13日・14日 1月27日・28日 2月23日・24日・25日	100名	99名
B		12月15日 1月9日・10日・18日 2月6日・7日 3月9日・10日11日	79名	79名
C		12月21日 1月11日・12日・19日 2月8日・9日 3月20日・21日・22日	27名	27名

④主任介護支援専門員更新研修（8日間 3コース）

コース	集合研修	コース別研修	受講者数	修了者数
A	5月22日	6月27日、7月11日・23日 8月6日・22日・29日、9月4日	58名	57名
B		6月28日、7月12日・24日 8月7日・23日・30日、9月5日	60名	58名
C		6月29日、7月13日・28日 8月24日・25日・31日、9月29日	38名	38名

(5) 介護支援専門員研修向上委員会、介護支援専門員研修企画・検討委員会、部会の開催

①介護支援専門員研修向上委員会（介護支援専門員研修企画・検討委員会と合同開催）

第1回 令和元年11月4日

内 容 令和元年度介護支援専門員実務研修受講試験の状況について
令和元年度研修実施状況について

各部会による検討

②介護支援専門員研修企画・検討委員会

第1回 令和元年11月4日

内容 令和元年度介護支援専門員実務研修受講試験の状況について
令和元年度研修実施状況について
各部会による検討

第2回 令和元年12月18日

内容 令和元年度介護支援専門員実務研修受講試験の状況について
令和元年度研修実施状況について
各部会による検討

③介護支援専門員研修実務（未経験）部会

第1回 令和元年6月6日

内容 平成30年度介護支援専門員実務研修の振り返りについて
令和元年度介護支援専門員実務未経験者更新研修・再研修について

第2回 令和元年7月10日

内容 令和元年度介護支援専門員実務未経験者更新研修・再研修について
第16章について

第3回 令和元年7月25日

内容 令和元年度介護支援専門員実務未経験者更新研修・再研修
第16章について（前回の続き）

第4回 令和2年2月13日

内容 令和元年度介護支援専門員実務研修の内容について

④介護支援専門員研修実務（未経験）医療科目担当講師会議

第1回 令和元年6月6日

内容 平成30年度介護支援専門員実務研修の振り返りについて
令和元年度介護支援専門員実務未経験者更新研修・再研修について

⑤専門研修（専門Ⅰ・専門Ⅱ）部会

第1回 令和元年11月5日

内容 専門研修Ⅰの開催結果について
次年度の専門研修Ⅰについて
専門研修Ⅱの開催状況について（報告）

(6) 令和元年度講師指導者研修会の開催

令和元年9月7日 / 三重県社会福祉会館

内容 講義「ファシリテーターの役割について」
演習「実務研修テキスト第16章」

事業評価

1・2 キャリアパス対応生涯研修では、階層ごとのプログラムを実施しました。日程によって受講生の調整を行ったため、1講座あたりの受講生が定員を超過する日程も発生しました。研修の質を担保するため、適正人数で行えるよう調整を行っていきます。

3 業種別研修や課題別専門研修について、研修ニーズを反映させた研修を企画・実施するために、研修委員会を開催し検討しました。今年度実施の研修のなかには、定員を下回るものもありましたが、アンケートによると好評であり、質の高い研修が実施できました。

また、喀痰吸引等研修（第一号・第二号）は、2年連続で20名以上受講数が減少しており、対象者の減少や他の研修実施機関の増加といった影響を受けていると考えられます。

三重県から受託している障害者虐待防止・権利擁護研修は、研修委員を集めた会議の回数を増やしたり、グループワークのリハーサルを実施したりして研修内容の充実を図りました。

自主企画研修では、受講者数が100名を超えるものがある一方で、低調であっ

	<p>たものもありましたので、多くの参加が得られるよう研修テーマをより慎重に選定する必要があります。</p> <p>三重県介護従事者確保補助金を使った研修は、人材育成に資する研修を企画し、見込みどおりの申込数があったものの、コロナウイルスの影響でキャンセルが相次ぎ受講数が結果的に少なくなりました。</p> <p>4・5 介護支援専門員実務研修受講試験については、受験者が昨年に比べて5%減の775名となりました。試験前日の台風の影響は受けなかったと分析しています。合格率は毎年変動するため、合格者の想定は困難ですが、合格者が漏れなく介護支援専門員実務研修を受講できるように、合格発表後、速やかに対応する必要があります。</p> <p>介護支援専門員にかかる法定研修については、令和元年度からその一部（専門研修Ⅰ・専門研修Ⅱ）を三重県介護支援専門員協会との共同企業体で実施していますが、講師陣に新カリキュラムが定着してきたこともあり、緻密に連携を図ることで各法定研修はスムーズに開催できています。半面、メイン講師を担っていただける講師に限られてきており、一部の講師に偏ってしまう傾向にあります。</p> <p>また、今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防の関係上、近県では法定研修の延期が相次ぎましたが、研修会場における予防対策に最大限の注意を払い、計画通り終了できております。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>1・2 キャリアパス対応生涯研修では、申込が想定を下回る結果となりました。受講メリットや各施設での活用が十分に浸透していないため、積極的な受講に繋がっていない可能性があります。そのため、調査研究を実施し、受講メリットをしっかりと明示したうえで広報啓発活動を行い、ホームページ等で早期に告知するなど積極的な受講に繋げる取組が必要です。</p> <p>3 業種別研修や課題別専門研修では、研修委員会にて研修企画等の検討が図られていますが、より研修ニーズを反映していくために、講師との打合せを密にするなど、よりよい研修の実施に向け努力していきます。</p> <p>今年度は定員を下回る研修も複数あったため、過去の実績や最新の動向をより注意深く検討しながら企画をすることが必要です。特に、自主企画研修では、自主財源確保の観点から、より多くの参加者が見込まれる研修を積極的に実施していく必要があります。また、喀痰吸引研修（第一号・第二号）受講者が大幅に減少しており、募集期間を長く設定する等の工夫をする一方、実施中止も検討せざるを得ません。</p> <p>喀痰吸引等研修（第三号・指導者養成）及び障害者虐待防止・権利擁護研修といった三重県からの委託事業については、適切に実施できました。引き続き、三重県と連携しながら実施していきます。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の終息がみえず、令和2年度事業の実施に大きな影響を及ぼすことが想定されます。当面の間は、情勢を注視して、研修開催時の対応の徹底を図るとともに、研修の延期、中止もありえることを念頭に置いて準備を行う必要があります。</p> <p>4・5 介護支援専門員実務研修受講試験については、今年度のコンペティションで5か年の継続した指定を受けることができました。</p> <p>介護支援専門員に係る法定研修については、引き続き「企画・検討委員会」において統一資料や指導者マニュアルの作成に向けて協議を進めていく必要があります。また、「研修向上委員会」を本来の目的である評価機関とすべく、評価基準や評価方法の協議を進めていかなければなりません。</p> <p>また、今後も受講生が安全・安心な環境で受講できるよう配慮する必要が引き続き求められています。</p>

基本目標 4 福祉サービスの質の向上

福祉サービスの利用者の増加および多様化、平成28年4月の障害者差別解消法施行等の人権意識の変革を踏まえ、経営協との協働や第三者評価、種別協議会の支援を通して、福祉サービスの質についてさらなる向上を図るため、様々な施策を展開します。

推進項目(1) 福祉サービス提供事業者の経営支援					
担当部署	福祉研修人材部 種別協議会支援 独立事務局 第三者評価事業・地域密着型外部評価				
事業	みえ福祉第三者評価事業 社会的養護関係施設第三者評価事業 地域密着型サービス外部評価事業				
事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉法の改正に伴う対応を社会福祉法人が円滑に行えるよう支援します。 ○経営協と連携しながら、社会福祉法人・施設経営に関する相談対応を行います。 ○社会福祉法人の取り組みについて住民の理解を促進するため、社会福祉法人による情報発信の機運を高めます。 ○評価機関として公正・中立性を確保し、効果的な評価を実施します。 ○受審事業所の期待に応えるため、評価調査者の専門性を高め資質の向上に努めます。 ○平成24年度から3年に1回の受審が義務付けられた社会的養護施設第三者評価の評価機関として、事業の推進を図ります。 ○評価結果の利活用の促進を図ります。 				
数値目標	第三者評価実施件数 (24年度からの累計)	単位	H30現状値	R2目標値	R1実績値
		件	48	77	58
		WBみえ21プラン第4期での達成率			62%
事業報告					
1 社会福祉法人・施設への相談助言機能の強化 経営協と連携し、社会福祉施設等の経営に関する相談対応					
2 第三者評価の啓発・推進 (1) みえ福祉第三者評価事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ①自己評価の実施（施設、事業所内） ②事前アンケート（職員・利用者家族）の実施 ③自己評価結果に基づく訪問調査の実施 ④第三者評価結果と改善計画の作成 ⑤第三者評価決定委員会審議後の公表 令和元年度受審施設 垂坂山ブルーミングハウス（障害者支援施設）、長谷山荘（救護施設） 上野の郷（介護老人保健施設） 計3施設					
(2) 社会的養護関係施設第三者評価事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ①自己評価の実施（施設、事業所内） ②事前アンケート（職員・利用者）の実施 ③自己評価結果に基づく訪問調査の実施 ④第三者評価結果の作成 ⑤第三者評価決定委員会審議後の公表の実施 令和元年度受審施設 児童心理療育施設 悠（児童心理治療施設）、エスペランス桑名（児童養護施設） エスペランス四日市（児童養護施設）、エスペランス四日市（乳児院） なないろ（児童養護施設）、ましろ（乳児院）、真盛学園（児童養護施設） 計7施設					

- (3) みえ福祉第三者評価事業 評価決定委員会
令和2年3月24日 / 三重県社会福祉会館

3 地域密着型外部評価事業の実施

- (1) 認知症対応型共同生活介護事業所に係る外部評価の実施
 評価事業所数 140事業所 (全事業所数196)
 (実施回数緩和承認事業所 39事業所)
 (他評価機関 17事業所)
- (2) 外部評価調査員会議の開催
 令和元年6月19日 / 三重県社会福祉会館
 令和2年3月19日 / 三重県社会福祉会館 (中止)
- (3) 外部評価調査員研修会の開催
 令和元年6月19日 / 三重県社会福祉会館
 令和元年9月14日 / 三重県総合文化センター
 「世界アルツハイマーデー記念講演会」参加
 令和2年3月19日 / 三重県社会福祉会館 (中止)
- (4) 外部評価審査委員会会議の開催
 令和元年6月11日 / 三重県社会福祉会館

<p>事業評価</p>	<p>1 社会福祉法人・施設への相談助言機能の強化では、規程や会計についての相談に応じました。また、経営協の事務局としてハラスメント対策や働き方改革関連法の改正など時勢に応じたテーマの研修を取り上げ、社会福祉法人運営の支援に努めました。</p> <p>2 第三者評価の啓発・推進において、社会的養護関係施設の第三者評価は、3年に1度の受審が義務付けられており、児童養護施設や乳児院等の7施設の評価を実施しました。 また、みえ福祉第三者評価においては、障害者支援施設、救護施設や介護老人保健施設の3施設の評価を実施しました。</p> <p>3 外部評価調査実施回数緩和承認先が昨年度より10事業所増加したことに伴い、調査対象事業所が減少しておりますが、計画に沿って調査実施しました。 新型コロナウイルスの影響で1事業所が次年度に延期されましたが、それ以外は予定通り調査をすることが出来ました。 また、外部評価調査員に対して、公平・客観性の確保の為、会議・研修の開催、関連講演会にも参加、外部評価調査員としての資質向上を図りました。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>1 社会福祉を取り巻く環境、法制度の変更等への相談助言に応じるため、情報収集に努めるとともに、職員の専門性を高める必要があります。</p> <p>2 第三者評価事業においては、担当者は部を超えた複数配置制を実施しており、受審施設が10施設と多くなりましたが、役割分担を行いながら、実施することができました。初めて受審施設に訪問調査を行った新規の評価調査員は4人おり、今後も調査員の確保とさらなる資質向上を図る必要があります。</p> <p>3 公平で客観的な外部評価の実施はもとより、さらなる評価機関と評価調査員の質の確保と、事業所の信頼を得て、充実した外部評価の実施が課題です。 また、評価調査員の資質向上研修を実施し、外部評価の質の向上へつなげる必要があります。引き続き、他評価機関との差別化を図り、事業所から選択され受審してもらえるように努める必要があります。</p>

推進項目（２） 種別協議会の支援					
担当部署	福祉研修人材部 種別協議会支援				
事業	社会福祉施設種別協議会活動育成費助成事業 共同募金配分金事業				
事業展開	○県社協と各種別協議会との連携を強化し、協働事業を実施するなど、直接的または間接的に支援していきます。 ○各種別協議会の政策提言機能を強化します。				
数値目標	種別協議会との協働による調査研究数（累計）	単位	H30現状値	R2目標値	R1実績値
		件	4	5	6
		WBみえ21プラン第4期での達成率			120%

事業報告

1 種別協議会への支援・連携の強化

(1) 三重県社会福祉法人経営者協議会の運営支援

①総会、役員会、研修会の開催支援

ア 総会 令和元年6月4日、令和2年3月6日※

イ 役員会 令和元年5月24日、令和2年3月6日※

※令和2年3月6日開催予定であった総会および役員会については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止とし、書面審議を実施した。

ウ 監事会 令和元年5月17日

エ セミナー 令和元年6月4日

オ 研修会 令和元年7月4日、8月1日、10月26日、11月11日、12月3日

カ 全国経営協共催セミナー 令和元年8月30日、令和2年1月8日

②経営青年会事業の運営支援

総会、正副会長会、役員会、研修会の開催支援、会報発行の支援

ア 総会 令和2年3月17日 (延期)

イ 正副会長会 令和元年6月10日

ウ 役員会 令和元年7月10日、令和2年2月19日

エ 研修会 令和元年9月2日

オ 宿泊学習会 令和2年2月18日～19日

(2) 三重県保育協議会の運営支援

①協議員会の開催支援

令和元年4月12日、令和2年3月18日※

※令和2年3月18日開催予定であった協議員会については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止とし、書面審議を実施した。

(3) 三重県障害者小規模福祉施設協議会の運営支援

①総会、役員会、監事会、研修会の開催支援

ア 総会 令和元年6月12日

イ 役員会 令和元年6月12日、9月14日、令和2年3月4日※

ウ 監事会 令和元年6月12日

エ 研修会 令和元年9月14日、令和2年3月4日※

オ 視察研修 令和2年2月6日～7日 / 岐阜県内3施設

※令和2年3月4日開催予定であった役員会および研修会については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止とし、役員会における議題については書面審議を実施した。

②ふれあいバザーの開催

令和元年11月16日 / 三重短期大学

(4) 三重県デイサービスセンター協議会の運営支援

①総会、役員会、委員会、研修会の開催支援

- ア 総会 令和元年5月25日、令和2年3月15日※
※令和2年3月15日開催予定であった総会については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止とし、書面審議を実施した。
- イ 理事会 平成31年4月25日、令和元年5月25日、令和元年11月5日、令和2年1月28日
- ウ 監事会 平成31年4月25日
- エ 総務運営委員会 令和元年5月9日、7月16日、8月6日、9月19日、12月5日、令和2年1月14日
- オ 在宅介護と協働を考える集い研修会 打ち合わせ会議
令和元年7月1日、10月8日、10月30日、12月11日
- カ 全体研修会
令和元年5月25日、7月19日、11月28日、令和2年1月14日、1月24日
- キ 地域研修
各地域で2～3回実施
- ク 県外視察研修
令和元年12月13日～14日 / 静岡県内2施設

(5) 三重県地域包括・在宅介護支援センター協議会の運営支援

①総会、事業運営委員会、監事会の開催支援

- ア 総会 令和元年5月31日、令和2年3月25日※
※令和2年3月25日開催予定であった総会については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止とし、来年度総会時の議題とすることとした。
- イ 事業運営委員会 令和元年5月31日、6月10日、7月9日、12月5日、令和2年1月17日、2月26日
- ウ 監事会 令和元年5月9日

②研修会の開催支援

- ア 研修会 令和元年8月5日、10月7日
- イ 初任者研修 令和元年7月18日
- ウ 課題別研修① 令和元年9月12日
- エ 課題別研修② 令和2年1月24日
- オ 課題別研修③ 令和2年2月26日
- カ 中勢ブロック研修 令和元年11月1日
- キ 北勢ブロック研修 令和2年3月9日※
※令和2年3月9日開催予定であった北勢ブロック研修については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止とした。

(6) 三重県理学療法士会の運営支援

- ①役員等との連絡調整
- ②書類発送作業

(7) 三重県保育士協会の支援

- ①総会および春季研修会、夏季研修会の開催支援
- ②研修室の貸出
- ③保育士名簿の作成補助

(8) 三重県介護福祉士会への協力

(9) 三重県介護支援専門員協会の支援

(10) 社会福祉施設種別協議会活動育成費助成事業の実施

- 三重県老人福祉施設協会、三重県保育協議会、三重県知的障害者福祉協会、三重県障害者小規模福祉施設協議会、三重県身体障害者福祉施設協議会、

(11) 研修会の開催

①三重県保育総合研修会

令和元年5月19日 / 三重県総合文化センター

②改定保育所保育指針『全体的な計画・指導計画作成の手引き』解説研修会の開催

令和元年6月1日 / 三重県総合文化センター

(12) 全国社会福祉法人経営者協議会東海北陸ブロック協議会への県事務局として参加

令和元年4月16日(名古屋市)、6月18日(金沢市)、8月21日(名古屋市)、
10月15日(金沢市)、11月20日(高山市)、12月17日(名古屋市)、
令和2年1月21日(金沢市)、2月18日(名古屋市)

(13) 研修会への参加

①第60回東海北陸保育研究大会「岐阜大会」

令和元年7月18日～19日 / 長良川国際会議場

②全国社会福祉法人経営者大会

令和元年9月12日～13日 / 鳥取県民文化会館

③世界アルツハイマーデー記念講演会

令和元年9月14日 / 三重県総合文化センター

④第63回全国保育研究大会「広島大会」

令和元年11月13日～15日 / 広島市文化交流会館

⑤東海北陸6県社会福祉法人経営者セミナー「岐阜大会」

令和元年11月21日～22日 / ひだホテルプラザ

(14) 各種別協議会会議への参加

①全国経営者協議会ブロック正副会長会議

令和元年7月3日 / ホテルキャッスルプラザ

②全国ナイスハートバザール2019 in みえ実行委員会

令和元年10月31日 / 共同受注窓口みえ事務所

令和元年11月29日 / 共同受注窓口みえ事務所

令和元年12月18日 / 共同受注窓口みえ事務所

令和2年1月20日 / 共同受注窓口みえ事務所

令和2年2月3日 / 共同受注窓口みえ事務所

③東海北陸ブロック保育協議会会議

令和元年7月19日 / 都ホテル岐阜長良川

令和元年12月6日 / じゅうろくプラザ

令和2年2月28日 / 富山県民会館※

※新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止、書面審議となった。

④東海北陸ブロック地域包括・在宅介護支援センター研究協議会「福井大会」

第1回運営委員会

令和元年6月7日 / アオッサ(福井県)

⑤認知症の人と家族への援助をすすめる第36回全国研究集会 in 三重実行委員会

令和2年1月17日 / 三重県総合文化センター

(15) 第64回全国保育研究大会「三重大会」開催の準備

①会議への参加

(a) 第64回全国保育研究大会 見積提出説明会

令和元年9月6日 / 全国社会福祉協議会

②会議の開催

(a) 第63回全国保育研究大会「広島大会」次期開催地PRシナリオ作成委員会

令和元年9月24日 / 三重県社会福祉会館

(b) 次期開催地PRリハーサル

令和元年10月28日 / 三重県社会福祉会館

③次期開催県PRの実施

(a) 第63回全国保育研究大会「広島大会」

令和元年11月15日 / 広島市文化交流会館

(16) 全国ナイスハートバザール2019 in みえの運営支援

三重県社会就労センター協議会等が主催となり、令和2年2月19日～23日にイオンモール津南において開催したバザールへスタッフを派遣（2月20日、22日、23日）。

2 政策提言機能の強化

(1) 社会福祉施設種別協議会代表者会議の開催

①高齢者関係社会福祉施設種別協議会代表者会議

令和元年7月3日 / 三重県社会福祉会館

内容：各種別協議会の現状と課題の共有

②児童福祉関係社会福祉施設種別協議会代表者会議

令和元年7月5日 / 三重県社会福祉会館

内容：各種別協議会の現状と課題の共有

③障がい者関係社会福祉施設種別協議会代表者会議

令和元年7月5日 / 三重県社会福祉会館

内容：各種別協議会の現状と課題の共有

(2) 三重県知事と社会福祉施設種別協議会代表者との懇談会の実施

①児童・障がい者関係団体

令和元年8月27日 / 三重県庁 プレゼンテーションルーム

内容：各種別協議会の現状と課題の共有、「災害時の取り組みに対する現状と今後の災害時の福祉支援体制について」の意見交換

出席者：三重県知事、子ども・福祉部長、副部長、次長、課長、人権・危機管理監、医療保健部課長

障害者、児童関係社会福祉施設種別協議会（8団体）の代表者

三重県社会福祉協議会 会長、常務理事、参事 他

②高齢者関係団体

令和元年8月28日 / 三重県庁 プレゼンテーションルーム

内容：各種別協議会の現状と課題の共有、「災害時の取り組みに対する現状と今後の災害時の福祉支援体制について」の意見交換

出席者：三重県知事、医療保健部長、副部長、課長、子ども・福祉部人権・危機管理 監

高齢者関係社会福祉施設種別協議会（6団体）および三重県社会福祉法人経営者協議会の代表者

三重県社会福祉協議会 会長、常務理事、参事 他

事業評価

1 本年度より、三重県地域包括・在宅介護支援センター協議会事務局を担い、運営支援に取り組みました。

2 昨年度まで行っていた社会福祉施設種別協議会正副会長会議を見直し、本年度から社会福祉施設種別協議会代表者会議を、高齢者関係団体・児童関係団体・障がい者関係団体において計3回開催しました。各分野に分かれることにより、例年より深く議論・意見交換を行うことができ、その後の三重県知事との懇談会に提出する課題整理を行うことができました。

<p>今後の課題</p>	<p>1 三重県地域包括・在宅介護支援センター協議会については、会員増加や運営体制に課題があるため、次年度より役員とともに改善に取り組んでいきます。 また、本県において全国保育研究大会が開催されることから、事前準備を十分に行い、円滑な運営支援に取り組みます。</p> <p>2 知事との懇談会や社会福祉施設種別協議会代表者会議について、来年度に向け更なるブラッシュアップを行い、より充実した会議となるよう取り組みます。 次年度には、共同募金配分金事業を利用し、三重県障害者小規模福祉施設協議会会員施設広報冊子を作成します。作成にあたっては皇學館大学のCLL事業を活用し、学生とともに地域の障がい者福祉の理解を深めることを目的として取り組みます。</p>
--------------	--

基本目標 5 災害時に備えた取り組みの推進

東日本大震災という未曾有の震災や度重なる豪雨災害を経て、南海トラフ地震の危険度が高い三重県においては市町社協やボランティア、NPO法人等との連携による災害ボランティアセンターの運営や要支援者への対応、事業継続計画（BCP）策定の取り組みは今後ますます重要になっています。第4期計画では基本目標として新たに位置づけて取り組みを進めます。

推進項目（1） 災害対応にかかる基盤強化					
担当部署	総務企画部 法人運営 地域福祉 ボランティアセンター				
事業	法人運営事業				
事業展開	<p>○地域福祉活動の拠点として、災害時も市町社協が活動できるよう支援します。</p> <p>○平時からみえ災害ボランティア支援センター（MVSC）の幹事団体として備え、速やかに災害ボランティアセンターが設置できるようMVSCに参画します。</p> <p>また、これを運営できる人材を養成します。</p> <p>○災害対応マニュアルの見直しや事業継続計画（BCP）の策定等、県社協内部の災害・防災に関する計画づくりを推進します。</p> <p>○防災訓練を実施し、平時から職員の防災意識を高揚します。</p>				
数値目標	事業継続計画策定市町社協数	単位	H30現状値	R2目標値	R1実績値
		法人	4	11	10
		WBみえ21プラン第4期での達成率			88%
事業報告					
1 市町災害ボランティアセンターの支援					
(1) 市町災害ボランティアセンターの支援					
①台風災害にかかる現地視察					
令和元年9月6日 / 東員町、四日市市、いなべ市、菟野町を巡回訪問					
②三重県地域福祉活動推進協議会 災害検討部会の開催					
第1回 令和元年9月3日 / 三重県社会福祉会館					
第2回 令和元年11月14日 / 三重県社会福祉会館					
第3回 令和2年2月12日 / 三重県社会福祉会館					
(主な検討事項 IT化への対応、ブロック派遣報告、災害ボラセンセミナー企画等)					
③災害ボラセンセミナーの開催（再掲）					
令和2年3月9日 / 三重県社会福祉会館 <u>（延期）</u>					
(2) 三重県広域受援計画（第8章）を踏まえた市町災害ボランティアセンター広域連携の支援					
①現地協働プラットフォーム研修（みえ災害ボランティア支援センター主催事業）					
内 容					
《包括研修》（第1回～第3回各回共通講座）					
・講座「行政・社協・NPO 三者連携が被災者の困りごとを改善する」					
・ワークショップ「三者連携を疑似体験する」					
講師 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）事務局長 明城 徹也 氏					
《個別研修》					
第1回 令和元年12月16日 / 三重県尾鷲庁舎					
【テーマ：ケアプランを必要とする人への支援】					
・講座「別府市のインクルーシブ防災から学ぶ ～誰一人取り残さない防災～」					
講師 別府市共創戦略室防災危機管理課 防災推進専門員 村野 淳子 氏					
第2回 令和2年1月16日 / 三重県伊勢庁舎					
【テーマ：災害時支援におけるGISの有効活用】					
・講座「災害時支援におけるGISの有効活用」					
講師 (株)ゼンリン事業 総合販売本部公共営業推進部 専任課長 畑間 祥嗣 氏					

第3回 令和2年2月28日 三重県伊賀庁舎 ※県社協担当

【テーマ：子どもにやさしい居場所づくり】

・講座「子どもにやさしい居場所づくり」

講師 減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表 浅野 幸子 氏
認定非営利活動法人カタリバ 山田 雄介 氏

(3) 全国社会福祉協議会災害ボランティアセンター運営者研修会の受講促進

令和元年10月1・2・3日

令和元年度参加市町社協 四日市市社会福祉協議会（1名）

(4) 三重県総合防災訓練への参画

本年度は参画なし

2 各計画策定の推進

(1) 本会事業継続計画（BCP）の見直し

未実施

(2) 災害用の備蓄購入計画の作成及び備蓄品の購入

備蓄品の整理及び購入を行った

(3) 災害時に備えた市町社協の事業継続計画（BCP）策定の促進

未実施

(4) 福祉避難所運営マニュアルの策定支援

未実施

事業評価	1 みえ災害ボランティア支援センターを通しての広域連携支援の取り組みはあったが、圏域ごとの災害ボランティアセンター連携強化の取り組みに社協として取り組むことができなかった。 2 局内の災害検討委員会で災害時行動マニュアルの見直し検討は実施したが、事業計画で掲げた備蓄購入計画の作成には至らなかった。BCPの見直しも未着手に終わった。
今後の課題	1 一部の地域での取り組みに留まっている災害ボランティアセンターの広域連携の取り組みについて、三重県地域福祉活動推進協議会災害検討部会における災害ボランティアセンター運営ハンドブック（仮称）の策定作業等を通して、有機的な相互応援体制の確立につなげていく必要があります。 2 BCPの更新や備蓄品の整理等、本会の災害対応について次年度は着実に取り組みを進める必要があります。

推進項目（２） 被災者支援における協働

担当部署	総務企画部 法人運営 地域福祉 ボランティアセンター				
事業	災害福祉支援ネットワーク事業				
事業展開	○大規模災害の被災地を支援するにあたり、全社協や都道府県社協とのネットワークを活かし、みえ災害ボランティア支援センター（MVSC）への参画のもと、必要な支援を展開します。 ○社会福祉関係者が災害に関する基礎知識を持ち、それぞれの組織として防災力の向上を図れるよう、福祉避難所の機能強化を支援します。				
数値目標	防災関係研修会 延べ開催数	単位	H30現状値	R2目標値	R1実績値
		回	6	6	8
		WBみえ 21 プラン第4期での達成率			140%

事業報告

1 ネットワークでの協働

(1) 都道府県社協や近隣県・市社協との連携した取り組みの推進

南海トラフ大地震発災時の支援について、令和元年度東海北陸ブロック県・指定都市社協 地域福祉担当部課長会議、総務部課長会議において協議しました。

地域福祉担当部課長会議 令和元年7月1・2日 / 石川県金沢市

総務部課長会議 令和2年2月7日 / 石川県金沢市

(2) みえ災害ボランティア支援センターおよび311みえネットへの参画

台風第19号豪雨災害に関するみえ災害ボランティア支援センターの設置

設置期間 令和元年10月16日～令和2年3月9日

①みえ災害ボランティア支援センター幹事会（平常時）の運営・参加

毎月1回開催

②台風第19号豪雨災害対応 MVSC設置運営

みえ発ボラパックの企画・運営（専属スタッフ配置は11月1日～11月30日）

活動場所 長野市北部災害ボランティアセンター「りんごサテライト」

総参加者数

	(日程) 津 (22:00 出発、23:30 帰着) 四日市 (23:30 出発、22:30 帰着)	備考 (カッコ内は参加者数) 車中1泊、休日は現地も1泊
第1便	11月 8日～11月10日	休日便 (37名)
第2便	11月10日～11月11日	平日便 (40名)
第3便	11月15日～11月17日	休日便 (19名)
第4便	11月20日～11月21日	平日便 (22名)
第5便	11月22日～11月24日	休日便 (28名)
第6便	11月29日～12月 1日	休日便 (31名)

③臨時会

いずれもアスト津3階みえ市民活動ボランティアセンター内で開催

令和元年10月16日、21日、25日、30日、11月18日、25日

④みえ発ボラパックふりかえり会

令和元年12月21日 / 三重県吉田山会館

参加者 22名

内容 ボラパック活動報告（活動概要、支援金報告、収支状況報告）

社協ブロック派遣 概要紹介、意見交換

2 災害時要配慮者の福祉支援体制整備

(1) 福祉関係団体と三重県との協働による災害福祉支援ネットワーク構築

災害福祉支援ネットワーク協議会 災害福祉支援ネットワーク整備検討部会において、災害福祉支援ネットワーク活動方針等を取りまとめました。

①災害福祉支援ネットワーク協議会 災害福祉支援ネットワーク整備検討部会の開催

- 第1回 令和元年6月25日 / 三重県社会福祉会館
- 第2回 令和元年8月6日 / 三重県社会福祉会館
- 第3回 令和元年10月1日 / 三重県社会福祉会館
- 第4回 令和2年2月4日 / 三重県社会福祉会館

②先進地視察の実施

令和元年6月14日 / 静岡県社会福祉協議会

(2) 三重県広域受援計画（第5章）における介護職員等の受入れに関する計画の推進

災害福祉支援ネットワーク協議会 広域受援計画介護職員等受入れ計画検討部会において、三重県広域受援計画 介護職員等の受入れに関する活動方針等を取りまとめました。

①災害福祉支援ネットワーク協議会 広域受援計画介護職員等受入れ計画検討部会の開催

- 第1回 令和元年6月25日 / 三重県社会福祉会館
- 第2回 令和元年8月2日 / 三重県社会福祉会館
- 第3回 令和元年9月27日 / 三重県社会福祉会館
- 第4回 令和2年2月13日 / 三重県社会福祉会館

②先進地視察の実施

令和元年7月17・18日 / 熊本県庁、熊本県社会福祉協議会

(3) 三重県災害福祉支援ネットワーク協議会の開催

- 第1回 令和元年10月25日 / 三重県社会福祉会館
- 第2回 令和2年3月4日 / 三重県社会福祉会館

(4) 「三重県福祉支援ネットワークに関する協定」及び「三重県広域計画（高齢者や障がい者等を支援する職員の受入れに関する計画）に係る協定」の締結

締結式 令和2年3月18日 / 三重県庁
三重県、福祉関係団体と標記の協定を締結した

(5) 福祉関係者向け研修会の開催

①災害時福祉支援リーダー養成講座 「誰も取り残さない 福祉×防災」

令和2年2月17日 / 三重県社会福祉会館

参加者 84名

講師 一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会 湯井 恵美子 氏

②災害福祉支援セミナー「災害時における福祉支援について考える」

令和2年3月5日 / 三重県総合文化センター (中止)

講師 三重大学大学院工学研究科 准教授 川口 淳 氏

3 令和元年東日本台風災害に対する支援活動について

全国社会福祉協議会からの東海北陸ブロックの各県社協への職員派遣要請により、市町社協および県社協職員を派遣

(1) 生活福祉資金緊急小口資金（特例貸付）にかかるブロック派遣（宮城県石巻市）

※基本目標2 推進項目（2）に記載（P29）

(2) 災害ボランティアセンター支援のためのブロック派遣（栃木県栃木市）

第1・3・5・7・9クール 各3名（三重県3名、愛知県3名）

三重県内の社会福祉協議会職員3名（うち市町社協職員2名）

クール	派遣期間	メンバー構成		
第1クール	10月24日～10月30日	三重県社協	いなべ市社協	鈴鹿市社協
第3クール	11月3日～11月9日	三重県社協	木曾岬町社協	亀山市社協
第5クール	11月13日～11月19日	三重県社協	津市社協	名張市社協
第7クール	11月23日～11月29日	三重県社協	菰野町社協	松阪市社協
第9クール	12月2日～12月8日	三重県社協	川越町社協	尾鷲市社協

※偶数クール（第2・4・6・8クール）は岐阜県および名古屋市が担当。

事業評価	<ol style="list-style-type: none">1 みえ発ボラパックの実施に際し、幹事団体として一定の役割を果たすことができました。2 福祉支援体制整備については協議会の下に部会を設置し、福祉支援ネットワーク（三重県DWA T）と、三重県広域受援計画における「高齢者や障がい者等を支援する職員（介護職員等）の受入れに関する計画」の具体的な推進方針を策定しました。また、三重県及び関係福祉団体と、災害時における福祉支援に関する協定を締結しました。3 全社協からの要請に対し、市町社協の協力もあって、宮城県および栃木県の被災地へ職員を派遣し、復興支援を行いました。
今後の課題	<ol style="list-style-type: none">1 みえ災害ボランティア支援センターによる「みえ発ボラパック」の実施については、幹事団体の負担が大きいため、事務局体制の強化や支援のあり方についての検討が必要です。2 福祉支援ネットワーク（三重県DWA T）と、三重県広域受援計画における「高齢者や障がい者等を支援する職員（介護職員等）の受入れに関する計画」について推進方針や協定に基づき、三重県DWA T派遣者等への研修、訓練等を進める必要があります。3 全国規模の社協ブロック派遣について、災害ボランティアセンター支援は現地の都道府県共同募金会財源の充当となりましたが、今後については依然として流動的であるため、何らかの形で備えておく必要があります。

基本目標6 県社協の基盤強化

推進項目（1）企画提案機能の強化					
担当部署	総務企画部 法人運営 地域福祉 ボランティアセンター				
事業	共同募金配分金事業				
事業展開	<p>○日々生まれる新たな福祉課題をしっかりと捉え、積極的に対応していきます。また、社会情勢の変化により想定される福祉課題に対し、早期に対応できるよう検討を行います。</p> <p>○地域の課題、社会福祉施設等の課題解決に向けた研究活動の推進を図り、福祉課題の具体的な支援につなげていきます。</p> <p>○職員の研究に対する意識が向上するような取り組みを行います。</p> <p>○公的な制度が未整備な部分を把握し、要援助者が必要な支援を受けられるよう、県内外を問わず先駆的な取り組みの成果を検証し、福祉課題や制度・施策の改善等について国、県および市町に対して行う提言機能を強化します。</p> <p>○福祉課題は関係者だけでなく、地域住民すべてに関わる生活課題であるため、広く住民や社会に問題を提起して、課題への関心を高めていくことを目指します。</p>				
数値目標	産学協働による研究件数 (25年度からの累計)	単位	H30現状値	R2目標値	R1実績値
		件	4	4	4
		WBみえ21プラン第4期での達成率			100%
事業報告					
1 福祉課題に関する調査の実施					
(1) 地域福祉活動調査事業の実施 本年度は該当なし。					
(2) 皇學館大学との包括連携協定による調査事業の実施 本年度は該当なし。					
2 福祉課題に関する研究の実施					
(1) 地域福祉活動調査事業による研究の実施 本年度は該当なし。					
(2) 皇學館大学との包括連携協定による研究事業の実施 本年度は該当なし。					
3 提言活動の実施					
(1) 調査研究の成果を活用した提言活動の実施 「日本地域福祉学会 第33回大会」での自由研究発表（ポスター発表） 令和元年6月9日 / 川崎医療大学					
(2) 市町社協、種別協議会等との連携による提言活動の実施 福祉人材の確保・定着・育成についての政党要望 三重県社会福祉会館の建替事業についての政党要望 日常生活自立支援事業についての政党要望					
①新政みえ 令和元年9月10日 / 三重県議会棟					
②自由民主党 三重県支部連合会 令和元年9月10日 / 自由民主党三重県支部連合会					
③公明党 三重県本部					

事業評価	1・2 皇學館大学との包括連携協定による研究事業については、打ち合わせを行ったものの進展することができませんでした。 3 毎年継続して日常生活自立支援事業に関する提言活動を行っていることに加え、今年度は、福祉人材の確保・定着・育成についておよび三重県社会福祉会館の建替事業についても提言活動を行うことができました。
今後の課題	1・2 皇學館大学との包括連携協定に基づく取り組みについては、新たな調査・研究を進めていく必要があります。 3 三重県地域福祉活動推進協議会や各種種別協議会等と連携・協力し、政策提言を行っていく必要があります。

推進項目（２） 情報提供の充実					
担当部署	総務企画部 法人運営				
事業	団体等分担金				
事業展開	<p>○県民全体にわかりやすく情報を提供し福祉に対する県民の理解向上を図ります。</p> <p>○SNSの活用等を通して、広く県社協の情報を発信して認知度向上を図り、“みえる” “県社協を目指します”。</p> <p>○社会情勢や新たな制度・施策について、調査研究した結果や県社協の方針を発信していきます。</p> <p>○会員や関係者向けの情報提供の充実に取り組みます。</p>				
数値目標	年間ホームページアクセス数	単位	H30現状値	R2目標値	R1実績値
		頁／年	333, 391	249, 400	集計中
		WBみえ21プラン第4期での達成率(H30末時点)			127%
事業報告 1 「福祉みえ」の充実 (1) 機関誌「福祉みえ」の内容充実 機関誌「福祉みえ」年11回発行 会員への情報提供 2 ホームページの充実 (1) ホームページの一層の充実 3 多様な広報媒体の活用 (1) 本会パンフレットの活用 新規入会施設への配布等に活用					
事業評価	1 広報委員会の活動により、「福祉みえ」の内容の充実に努めました。 2 ホームページの一層の充実を図るため、寄付金情報などをより迅速に掲載しました。 3 福祉人材センターでの新聞広告、フェイスブック、ボランティアセンター事業でのメールマガジンなど特性に応じた広報媒体を活用しました。				
今後の課題	1 時勢に応じた特集や連載を組むなど、一層の充実を図ることが必要です。 2 スマートフォン等でも見やすいホームページを再構築していく必要があります。 3 現状に即して会員規程を見直し、新規の入会促進を積極的に行う必要があります。				

推進項目（３） 組織体制の強化													
担当部署	総務企画部 法人運営												
事業	共同募金配分金事業												
事業展開	<p>○組織の核である会員の確保および拡大に向けた取り組みを進めます。</p> <p>○新たな福祉課題に対応できるように組織基盤の強化を図ります。</p> <p>○不祥事や事務手続きの誤りを未然に防ぐためのチェック機能を強化し、健全な組織運営を行っていきます。</p> <p>○事務局の専門性向上のため、職員の専門性や資質向上に向けた取り組みを行います。</p> <p>○職員のやる気を引き出す職場づくりに努めます。</p>												
数値目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>単位</th> <th>H30現状値</th> <th>R2目標値</th> <th>R1実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会員施設・団体数 (市町社協、民児協は除く)</td> <td>787</td> <td>856</td> <td>788</td> </tr> <tr> <td colspan="3">WBみえ21プラン第4期での達成率</td> <td>-13%</td> </tr> </tbody> </table>	単位	H30現状値	R2目標値	R1実績値	会員施設・団体数 (市町社協、民児協は除く)	787	856	788	WBみえ21プラン第4期での達成率			-13%
	単位	H30現状値	R2目標値	R1実績値									
	会員施設・団体数 (市町社協、民児協は除く)	787	856	788									
WBみえ21プラン第4期での達成率			-13%										
事業報告													
<h3>1 会員との関係強化</h3> <p>(1) 社会福祉関係従事者等の顕彰</p> <p>①三重県社会福祉協議会会長表彰 第68回三重県社会福祉大会 令和元年10月16日 / 三重県総合文化センター 頭 彰 三重県社会福祉協議会会長表彰・感謝受賞者 民生委員・児童委員功労者 47名 社会福祉法人・福祉施設功労者 36名 社会福祉協議会、民間団体功労者 19名 社会福祉協助者 2名 社会福祉協助団体 1団体 講 演 「子どもとつなぐ これからの地域づくり」 講 師 特定非営利活動法人ハンズオン!埼玉 常務理事 西川 正 氏</p> <p>②全国社会福祉協議会会長表彰への協力（推薦） 令和元年度全国社会福祉大会 令和元年11月22日 / メルパルクホール 三重県の受賞者・団体 民生委員・児童委員功労者 7名（全国の受賞者 379名） 社会福祉法人・福祉施設功労者 5名（全国の受賞者 377名） 社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労者 1名（全国の受賞者 248名） 永年勤続功労者 12名（全国の受賞者1,084名）</p>													
<h3>2 組織のガバナンスの強化</h3> <p>(1) 会務の運営</p> <p>①正副会長会議 令和元年6月5日、12月11日 令和2年3月13日 / 三重県社会福祉協議会</p> <p>②理事会 第1回 令和元年6月5日 / 三重県社会福祉会館 第1号議案 平成30年度 事業報告について 第2号議案 平成30年度 決算について 第3号議案 評議員候補者の選考及び評議員選任・解任委員会の招集について 第4号議案 理事及び監事の候補者の選任について 第5号議案 令和元年度 第1回評議員会（定時評議員会）の招集について 第2回 令和元年6月27日 / 三重県社会福祉会館 第1号議案 会長、副会長及び常務理事の選定について 第3回 令和元年12月11日 / 三重県社会福祉会館 第1号議案 令和元年度 第一次収支補正予算（案）について</p>													

- 第2号議案 評議員候補者の選考及び評議員選任・解任委員会の招集について
- 第3号議案 理事の候補者の選任について
- 第4号議案 令和元年度 第2回評議員会の招集について
- 第4回 令和2年3月13日 / 三重県社会福祉会館
- 第1号議案 令和元年度 第二次収支補正予算(案)について
- 第2号議案 新ウェルビーイングみえプラン(最終案)について
- 第3号議案 令和2年度 事業計画(案)について
- 第4号議案 令和2年度 収支予算(案)について
- 第5号議案 令和2年度 資金運用計画(案)について
- 第6号議案 評議員候補者の選考及び評議員選任・解任委員会の招集について
- 第7号議案 第3回評議員会の招集について

③評議員会

- 第1回 令和元年6月27日 / 三重県社会福祉会館
- 第1号議案 平成30年度 事業報告について
- 第2号議案 平成30年度 決算について
- 第3号議案 理事及び監事の選任について
- 第2回 令和元年12月24日 / 三重県社会福祉会館
- 第1号議案 令和元年度 第一次収支補正予算(案)について
- 第2号議案 理事の選任について
- 第3回 令和2年3月26日 / 書面決議
- 第1号議案 令和元年度 第二次収支補正予算(案)について
- 第2号議案 新ウェルビーイングみえプラン(最終案)について
- 第3号議案 令和2年度 事業計画(案)について
- 第4号議案 令和2年度 収支予算(案)について

④監事会

- 令和元年5月24日 / 三重県社会福祉会館
- 内 容 平成30年度事業報告並びに収支決算に関する監査
- 令和元年10月29日 / 三重県社会福祉会館
- 内 容 令和元年度中間事業報告並びに中間収支決算に関する監査

⑤内部監査の開催

- 令和元年5月22日 / 三重県社会福祉会館
- 内 容 平成30年度事業報告並びに収支決算に関する監査
- 令和元年10月28日 / 三重県社会福祉会館
- 内 容 令和元年度中間事業報告並びに中間収支決算に関する監査

⑥評議員選任・解任委員会

- 令和元年6月10日 / 三重県社会福祉会館
- 令和元年12月17日 / 三重県社会福祉会館
- 令和2年3月17日 / 三重県社会福祉会館

(2) 外部監査

- ①財政的援助団体等の予備監査
- 令和元年11月20日 / 三重県社会福祉会館
- ②財政的援助団体等の委員監査
- 令和2年1月23日 / 三重県社会福祉会館

(3) 東海北陸ブロック関連会議

- ①県社協・県共募 専務・常務理事、事務局長会議の開催
- 平成31年4月16・17日 / 福井アカデミアホテル
- ②県社協次長・総務部課長会議の開催
- 令和2年2月7日 / 石川県社会福祉会館

(4) 社会福祉法人改革を踏まえた県社協の組織改革、番号法の施行によるマイナンバーへの対応等によ

3 地域福祉活動支援計画・強化発展計画（ウェルビーイングみえ21プラン）の抜本的見直し

(1) 策定委員会の開催

- 第2回 平成31年4月8日 / 三重県社会福祉会館
- 第3回 令和元年8月5日 / 三重県社会福祉会館
- 第4回 令和元年11月19日 / 三重県社会福祉会館
- 第5回 令和2年1月31日 / 三重県社会福祉会館
- 第6回 令和2年3月10日 / 三重県社会福祉会館

(2) 内部検討会の開催

- 第1回 令和元年5月31日 / 三重県社会福祉会館
- 第2回 令和元年6月13日 / 三重県社会福祉会館
- 第3回 令和元年7月9日 / 三重県社会福祉会館
- 第4回 令和元年7月26日 / 三重県社会福祉会館
- 第5回 令和元年8月30日 / 三重県社会福祉会館
- 第6回 令和元年9月10日 / 三重県社会福祉会館
- 第7回 令和2年2月26日 / 三重県社会福祉会館
- 第8回 令和2年3月4日 / 三重県社会福祉会館

(3) 計画策定にかかるアンケート調査等の実施

①アンケート調査の実施

- 調査期間 令和元年5月～6月
- 調査対象 県内に事業所を持つ社会福祉法人318法人
- 回答数 138法人（うち20は市町社協）

②団体ヒアリングの実施

- 調査対象 種別協議会13団体、当事者団体5団体

4 事務局の機能強化

(1) 職員の資質向上

①内部委員会による横断的な取り組みの実施

- 令和元年度内部委員会 広報委員会、災害対応委員会、健康職場づくり委員会

②内部研修の開催

- 第1回 職員の基礎知識
平成31年4月5日 / 三重県社会福祉会館
- 第2回 ビジネス基礎及び指導の受け方研修（新規職員対象）
平成31年4月9日・10日 / 三重県社会福祉会館
- 第3回 部下指導研修（課長対象）
令和元年5月21日 / 三重県社会福祉会館

(2) 衛生委員会の実施

- 毎月第1木曜日開催、産業医による職場巡視
- ストレスチェックの実施

事業評価

- 1 会員との関係強化では、社会福祉大会での表彰をはじめ、例年通り取り組みを進めました。
- 2 組織のガバナンスの強化では、内部監査や監事監査だけでなく、三重県監査委員事務局による財政的援助団体等の監査を受けることで、内部統制機能を高めることに繋がりました。
- 3 社会情勢や制度・施策の変化に対応するため、ウェルビーイングみえ21プラン策定委員会や内部検討会を開催し、新ウェルビーイングみえプランを新たに策定しました。

	<p>4 広報委員会等の内部委員会の取り組みにより、局内の横断的な取り組みを進めました。また、職員研修では、外部講師による研修を行い、職員の資質向上に努めました。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>1 会員制度の見直しについて検討が必要です。</p> <p>2 働き方改革の内容を含めた諸規程等の見直しを行ったうえで、職員には諸規程等の中身を周知徹底する必要があります。また、法令を遵守しながら、透明性の高い法人運営を行う必要があります。</p> <p>3 新ウェルビーイング21プランを進捗管理や評価を行い、推進していくことが求められます。</p> <p>4 内部委員会については、十分に機能しなかったものもあるため、着実に取り組むことが求められます。</p>

推進項目（４） 財政基盤の強化					
担当部署	総務企画部 法人運営				
事業	会費等				
事業展開	<p>○公的財源および会費をはじめとする民間財源を安定的に取得し、有効に活用します。</p> <p>○自主財源の確保につながる事業を積極的に展開していきます。</p> <p>○事務経費削減を意識して業務に従事し、これを徹底します。</p>				
数値目標	受託金を除く収入に占める 自主財源の割合	単位	30年度現状値	32年度目標値	年度実績値
		%	39.3	50.0	41.7
		WBみえ21プラン第4期での達成率			-89%
事業報告 1 会費をはじめとする安定的財源の確保 (1) 自主財源の確保 ①寄付金品の受理 ・一般寄付及び指定寄付 4件 合計691,850円 ②車いす等の寄贈における社会福祉施設への配分 ・車いす 4件 46台 ・車両 2件 3台 ・食糧 1件 ・物品 1件 ③新規設立法人や新たな福祉関連施設への入会促進、個人または団体の賛助会員の募集 新規会員加入数 10施設 令和元年度末会員数 a 市町社会福祉協議会 29か所 b 民生委員・児童委員 4,197人 c 社会福祉事業施設等 756か所 d 社会福祉関係団体等 13か所 e 賛助会員等 19か所 ④図書の斡旋販売、社会福祉施設保険等の斡旋 2 経費削減の徹底 (1) 事務事業の見直しと業務省力化 ①会計、事務処理の効率化の実現、見直し、事務手続きや会計処理の管理体制の強化 ②印刷、物品の購入時の公正を図るため、見積り依頼の機会均等の徹底 ③社会福祉施設・団体等への電子メール活用呼びかけ、事務の効率化と経費の節減					
事業評価	1 自主財源の確保では、収益事業を実施しました。 2 経費削減の徹底では、業務の効率化を図りました。				
今後の課題	1 自主財源の獲得に向けた取り組みを強化することが必要です。 2 共通経費として支出を行うコピー機の使用料や電話代などは、経費の見える化を行うことで、経費削減に繋げる必要があります。				